

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-1 観光	H18 年度～ R6 年度	01-06-02-02-03-01
	基本事業	② 観光客の受け入れ	担当部署	部・課名等
	事務事業名	ハーモニー・フォレスト維持管理経費	産業振興部農林振興課	評価責任者・連絡先 課長 前川 博善 0595-22-9712

事務事業の概要	対象	市民及び市外(都市)住民		
	目的	都市と川上ダム上流域の地域資源を活用した山村の交流を促進し、地元地区の地域活性化に努める。		
	根拠法令等	青山ハーモニー・フォレストの設置及び管理に関する条例		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>青山ハーモニー・フォレストの管理に関する包括協定書及び年度協定書に基づき、施設の良好な維持管理及び運営に努めました。</li> <li>指定管理者は、施設利用者を増やすための自主事業を開催しました。(パークゴルフ値引きキャンペーン企画の期間延長、季節の手づくりワークショップ等)</li> <li>令和4年度の途中からキャンプブームの落ち着いたが見られましたが、フリーキャンプやイベント誘致で客数は増加しています。(オートキャンプ場利用者数) R2:2,732人 R3:3,679人(内日帰り:493人) R4:2,842人 R5:2,436人 (バーベキュー場利用者数) R2:494人 R3:443人(内日帰り:364人) R4:452人 R5:777人 (パークゴルフ場利用者数) R2:1,457人 R3:1,912人 R4:2,053人 R5:2,000人</li> <li>残留塩素計の修繕や屋外トイレ和風便器の改修、乗用草刈機の修繕をおこないました。</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	6,662,000円	ハーモニー・フォレスト指定管理料 (指定管理者:種生区)	
	需用費	1,886,806円	修繕料:屋外トイレ和風便器改修902,000円 残留塩素計修繕803,000円、他	
	計	8,548,806円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	川上ダム周辺整備事業基金繰入金 8,535,106円 行政財産目的外使用料 13,700円
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	8,763	8,549	7,373	0	0	0	0	
	一般財源	7,670	0	0	0	0	0	0	0	
	合計(A)	7,670	8,763	8,549	7,373	0	0	0	0	
事業費	正規職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	0.10 人	
		人件費	774	771	771	788				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費		0	0	0	0					
小計(B)	774	771	771	788						
合計(A+B)	8,444	9,534	9,320	8,161						
市民1人当たりのコスト(円)		97	111	108	96					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	施設年間利用者数	指定管理者が、前年度利用者数を下回らないようイベント内容の検討を行っている。	人	目標	10000	11600	14000	14500
				実績	11550	13,804	13532	
指標化できない成果	—		達成	115%	119%	96%		

方向	改善	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナウィルスが5類に移行し、新たな利用客を増加させる工夫が求められます。</li> <li>施設、整備についても、大きな修繕をおこなっても新たな修繕箇所が発生する可能性も大きいいため、予算の確保が必要です。</li> </ul>
	改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>引続き、積極的な自主事業をおこなうよう指定管理者へ指導や助言をおこない、利用客の増加を図ります。</li> <li>令和6年度予算で適切な修繕をおこなうとともに、指定管理者との定期的な情報交換をおこないます。</li> </ul>	

整理番号
329 -

決算書頁
261

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)04治山林道維持経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H16 年度～	R6 年度	01-06-02-02-04-01
	基本事業	① 森林環境の整備	担当部署		評価責任者・連絡先
	事務事業名	治山林道維持経費	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104	

事務事業の概要	対象	林道利用者		
	目的	林道利用者が安全に通行できるよう維持管理を行う。		
	根拠法令等	伊賀市林道維持管理規程		
	内容	<p>市が直轄管理する基幹林道総延長L=26.7kmの維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・路肩除草 N=8件 A=52,947㎡</li> <li>・舗装補修 N=1件</li> <li>・原材料費(道路補修材購入) N=1式</li> </ul> <p>地元管理林道関係の維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小規模土地改良事業等補助金 工事費補助 N=2件 材料費補助 N=2件</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	修繕料	398,200円	霊山林道舗装工事	398,200円
	委託料	3,124,100円	草刈業務委託料 8件 (うちシルバー1件・地元7件)	3,124,100円
	原材料費	41,580円	資材費 施設補修材料費	41,580円
	負担金、補助及び交付金	1,097,140円	小規模土地改良事業等補助金 工事費2件 材料費2件	1,097,140円
	計	4,661,020円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	5,425	4,720	4,661	4,998					
	合計(A)	5,425	4,720	4,661	4,998					
事業費	正規職員	業務量	0.21 人	0.21 人	0.21 人	0.21 人				
		人件費	1,625	1,619	1,619	1,654				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	1,625	1,619	1,619	1,654						
合計(A+B)	7,050	6,339	6,280	6,652						
市民1人当たりのコスト(円)		81	74	73	78					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
330 -

決算書頁
261

(会計)01一般会計(款)06農林業費(項)02林業費(目)02林業振興費(大事業)05森林基盤整備事業

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	R4 年度～	R6 年度	01-06-02-02-05-01
	基本事業	① 森林環境の整備	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	森林環境保全整備事業	担当部署	産業振興部農村整備課	課長 松尾 卓哉 0595-41-0104

事務事業の概要	対象	林道の利用者		
	目的	安全で円滑な交通の確保及び第三者への被害の未然防止を図る。		
	根拠法令等	林野庁インフラ長寿命化計画(行動計画)		
	内容	市が管理する林道橋梁は149橋あり、橋梁点検により、早期措置段階・緊急措置段階と判定された橋梁について、個別施設計画に基づき修繕を行う事業です。R5年度は林道シデノ木原線3号橋他6橋の橋梁補修測量設計業務委託および壺山線無名橋001他49橋の橋梁点検診断を行いました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費  委託料  計	269,994円  12,006,500円  12,276,494円	消耗品費 256,724円 修繕料 作業用器具修繕 13,270円 橋梁修繕設計業務委託料 4,048,000円 <small>林道シデノ木原線3号橋他6橋橋梁補修測量設計業務委託</small> (緊急自然災害防止対策事業) 橋梁修繕設計業務委託料 7,958,500円 橋梁点検診断業務委託 (農山漁村地域整備交付金事業)	

	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		直接事業費	国県支出金	0	4,861	
	地方債	14,200	4,900	4,000	33,000	
	その他	0	5,262	0	0	
	一般財源	297	441	4,444	3,556	
	合計(A)	14,497	15,464	12,276	39,115	
事業費	正規職員	業務量	0.32 人	0.32 人	0.22 人	0.22 人
		人件費	2,476	2,466	1,696	1,733
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人件費		0	0	0	0	
	小計(B)	2,476	2,466	1,696	1,733	
	合計(A+B)	16,973	17,930	13,972	40,848	
	市民1人当たりのコスト(円)	194	208	162	479	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	修繕工事(設計)の実施 橋梁数	個別施設計画に基づき修繕 工事又は設計を実施した橋梁 数	橋	目標	-	4(設計・工事)	7(設計)	7(工事)
				実績	-	4(設計・工事)	7(設計)	
指標化できない成果	-	-	達成	-	100%	100%		

方向	改善	課題	特になし
	改善案	課題	特になし

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-3 森林保全・林業	H16 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-02	
	<b>基本事業</b>	① 森林環境の整備	<b>担当部署</b>	部・課名等	評価責任者・連絡先
	<b>事務事業名</b>	みんなの里山整備活動推進事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	地域の暮らしに身近な森林		
	<b>目的</b>	災害に強い森林づくりとして、地域住民による暮らしに身近な森林整備の体制づくり		
	<b>根拠法令等</b>	みえ森と緑の県民税条例、みんなの里山整備活動推進事業補助金交付要綱		
	<b>内容</b>	緑の環境づくりや生活に密着した里山・竹林の再生を目的に、自治会等の地域住民が実施するボランティア活動に対して、必要経費を交付しました。 交付自治会数 34自治会(区) 補助金交付金額 7,371,680円		
<b>事業に要した主な経費など</b>	経費	金額	摘要	
	負担金、補助及び交付金	7,371,680円	みんなの里山整備活動推進事業補助金 34自治会(区)	
	消耗品	149,160円	のぼり旗	
	計	7,520,840円		

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	6,052	7,571	5	6,200	みえ森と緑の県民税市町交付金 7,520,840円	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	21	7,516	0		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	6,052	7,592	7,521	6,200		
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.52 人	0.52 人	0.52 人		0.52 人
			人件費	4,024	4,007	4,007		4,095
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	4,024	4,007	4,007	4,095			
	合計(A+B)	10,076	11,599	11,528	10,295			
	市民1人当たりのコスト(円)	115	135	134	121			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	活動参加人数		里山・森林の再生のためのボランティアに参加した人員	人	目標	1,300	1,350	1,400
					実績	1,209	965	1,230
指標化できない成果	—		達成	80.6%	71.5%	87.9%		

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	例年一定数の自治会に当事業を活用いただいております。暮らしに身近な里山を地域住民の手で管理が行われています。今後は、当事業をより多くの自治会に活用いただき、地域住民の手で管理された里山を広げていく必要があります。
	<b>改善案</b>	例年、年度当初に各地区市民センターを通じて各自治協及び自治会に対して事業周知を行い、ホームページ等にも事業募集を掲載していますが、今後は事業を活用した地区の参考事例などを紹介し、今年度も各自治会会長及び区長宅へ案内チラシの送付を行う。これにより、より多くの自治会等に事業申請してもらえるよう努めます。	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-3 森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-03	
	<b>基本事業</b>	② 森林資源の利活用	<b>担当部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>	伊賀の森っこ育成推進事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	市内の小中学生		
	<b>目的</b>	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める		
	<b>根拠法令等</b>	みえ森と緑の県民税条例、伊賀の森っこ育成推進事業補助金交付要綱		
	<b>内容</b>	<p>小学校は6年生の学級数、中学校は3年生の学級数に10万円を乗じた額を上限として、森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行いました。</p> <p>事業活用実績 小学校 18校の内14校(78%)、中学校10校の内5校(50%)。</p> <p>19団体 3,456,446円</p>		
<b>事業に要した主な経費など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	負担金、補助及び交付金	3,456,446円	伊賀の森っこ育成推進事業補助金 3,456,446円	
	計	3,456,446円		

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	2,845	3,400	3,457	3,000	みえ森と緑の県民税市町交付金 3,456,446円	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	2,845	3,400	3,457	3,000		
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.17 人	0.17 人	0.17 人		0.17 人
			人件費	1,316	1,310	1,310		1,339
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	<b>小計(B)</b>	1,316	1,310	1,310	1,339			
	<b>合計(A+B)</b>	4,161	4,710	4,767	4,339			
	市民1人当たりのコスト(円)	48	55	56	51			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	補助金申請団体数	当該補助金を申請した小中学校数	団体	目標	20	23	26	30
				実績	14	16	19	/
指標化できない成果	—		達成	70.0%	69.6%	73.1%	/	

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	小学校に比べ中学校の事業申請が少なく、小学校から中学校へ継続した森林環境教育の実施が課題です。
	<b>改善案</b>	当事業を活用いただいていない小中学校に対して、事業活用事例等を紹介し、事業申請を促します。	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-3 森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-04	
	<b>基本事業</b>	② 森林資源の利活用	<b>担当部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>	地域の森と緑のつながり支援事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	住民自治協議会等											
	<b>目的</b>	次世代を担う子どもたちの森林環境への理解と関心を深める											
	<b>根拠法令等</b>	みえ森と緑の県民税条例、地域の森と緑のつながり支援事業補助金交付要綱											
	<b>内容</b>	<p>1回あたり5万円を上限として世代間交流などによる森林環境・林業等に関する学習活動・体験活動などに対して補助を行いました。</p> <p>申請団体 2団体(住民自治協議会) 59,234円</p>											
<b>事業に要した主な経費など</b>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:15%;">金額</th> <th style="width:55%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td style="text-align: right;">59,234円</td> <td>地域の森と緑のつながり支援事業補助金</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">59,234円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	59,234円	地域の森と緑のつながり支援事業補助金	計	59,234円	
	経費	金額	摘要										
負担金、補助及び交付金	59,234円	地域の森と緑のつながり支援事業補助金											
計	59,234円												

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	80	200		60
地方債	0			0	0	0		
その他	0			0	0	0		
一般財源	0			0	0	0		
合計(A)	80			200	60	150		
<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>		業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	
			人件費	78	78	78	79	
	<b>再任用職員</b>		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
	<b>会計年度任用職員</b>		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0			
	<b>小計(B)</b>	78	78	78	79			
	<b>合計(A+B)</b>	158	278	138	229			
	<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>	2	4	2	3			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	<b>補助金申請団体数</b>		当該補助金の申請団体数	団体	<b>目標</b>	8	6	6	6
					<b>実績</b>	0	2	2	/
	<b>指標化できない成果</b>	—		<b>達成</b>	0%	33.3%	33.3%	/	

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<p><b>課題</b></p> <p>令和4年度に実施された事業は、林業従事者を対象とした林業研修であり、子どもを対象とした森林環境教育活動への事業活用がありませんでした。地域の子どもたちを対象とした森林環境教育活動の実施に向け、当事業の活用について各団体に周知する必要があります。</p>
	<b>改善案</b>	<p>これまでから継続して実施している、住民自治協議会への事業概要及び補助金申請書類のメール送付やホームページ掲載による事業周知に加え、具体的な森林環境教育活動の事例の紹介等を行うことで、当事業の活用を促します。</p>

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-3 森林保全・林業	H26 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-05	
	<b>基本事業</b>	② 森林資源の利活用	<b>担当部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>	みえ森と緑の県民税市町交付金基金事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	みえ森と緑の県民税市町交付金のうち、一般会計歳入歳出予算で定める額											
	<b>目的</b>	災害に強い森林づくり及び市民全体で森林を支える社会づくりを推進する施策に要する経費の財源に充てる											
	<b>根拠法令等</b>	伊賀すみえ森と緑の県民税市町交付金基金条例											
	<b>内容</b>	みえ森と緑の県民税市町交付金基金利子 33,728円											
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:15%;">金額</th> <th style="width:55%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>積立金</td> <td style="text-align: right;">33,728円</td> <td>みえ森と緑の県民税市町交付金基金利子</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">33,728円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				経費	金額	摘要	積立金	33,728円	みえ森と緑の県民税市町交付金基金利子	計	33,728円	
	経費	金額	摘要										
	積立金	33,728円	みえ森と緑の県民税市町交付金基金利子										
計	33,728円												

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	8,098	0		0
地方債	0			0	0	0		
その他	20			21	34	35		
一般財源	0			0	0	0		
合計(A)	8,118			21	34	35		
<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>		業務量	0.01 人	0.01 人	0.01 人	0.01 人	
			人件費	78	78	78	79	
	<b>再任用職員</b>		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
	<b>会計年度任用職員</b>		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0			
	<b>小計(B)</b>	78	78	78	79			
	<b>合計(A+B)</b>	8,196	99	112	114			
	<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>	94	2	2	2			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	—	—	—	—	目標	—	—	—	—
					実績	—	—	—	—
指標化できない成果		基金への積立金であり、指標化できません。	達成	—	—	—	—		

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	伊賀すみえ森と緑の県民税市町交付金基金への積立金です。
	<b>改善案</b>	基金を活用して実施する事業の検討を行います。	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-3 森林保全・林業	H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-06	
	<b>基本事業</b>	② 森林資源の利活用	<b>担当部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>	未利用間伐材バイオマス利用推進事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	未利用間伐材搬出者		
	<b>目的</b>	未利用間伐材利用を促進して林地残材の減少を図り、森林所有者等による森林整備につなげる		
	<b>根拠法令等</b>	みえ森と緑の県民税条例、未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金交付要綱		
	<b>内容</b>	<p>発電用チップに係る間伐材等由来の木質バイオマス証明材を、市内の木質バイオマス発電証明ガイドライン認定事業者に買い取ってもらうために必要な搬出、及び運搬に要する経費の一部を助成しました。</p> <p>間伐材等由来の木質バイオマス証明材:1トン当たり 3,000円 搬出量:852.76トン</p>		
<b>事業に要した主な経費など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	負担金、補助及び交付金	2,558,280円	未利用間伐材バイオマス利用推進事業補助金	
	計	2,558,280円		

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	2,804	5,100	2,559	3,000	みえ森と緑の県民税市町交付金 2,558,280円	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	2,804	5,100	2,559	3,000		
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.13 人	0.13 人	0.13 人		0.13 人
			人件費	1,006	1,002	1,002		1,024
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
		<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	<b>小計(B)</b>	1,006	1,002	1,002	1,024			
	<b>合計(A+B)</b>	3,810	6,102	3,561	4,024			
	<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>	44	71	42	48			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		未利用間伐材搬出量	補助対象となった未利用間伐材の搬出量	t	目標	2000	2500	3000	3000
					実績	1828.86	934.56	852.76	/
	指標化できない成果	—		達成	91.4%	37.4%	28.4%	/	

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<p>搬出量については、令和4年度からのウッドショックにより木材価格が高騰したため、これまでバイオマス材として出荷されていたものが、木材として出荷されるようになったことの影響を受け、さらに出荷量が減少された。木材市場全体の取扱い量は増加しており、用材として出荷される木材が増加したことは望ましいことですが、今後も当事業により、間伐された後未利用となっているバイオマス材の有効利用を促進する必要があります。</p>
	<b>改善案</b>	バイオマス材の出荷先である木材市場と連携し、補助金申請書類の簡素化を検討します。

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-3 森林保全・林業	H28 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-07	
	<b>基本事業</b>	② 森林資源の利活用	<b>担当部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>	森のやすらぎ空間整備事業		産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	市民が木とふれあい、やすらげる空間を創出する。											
	<b>目的</b>	木の薫るやすらぎの街づくりのため、伊賀市産木材を利用し街中にやすらげる空間をつくる											
	<b>根拠法令等</b>	みえ森と緑の県民税条例、産業振興部関係補助金等交付要綱											
	<b>内容</b>	伊賀市旧上野庁舎を改修し、図書館・観光交流施設等を計画。その中の児童図書館空間の一部(テラス部分)において木製備品のデザイン・設計・制作を今回改修に係わる建築家、家具デザイナーの協力のもとに事業を行う。 木製備品のデザイン案開発に伴う原材料費・需用費・備品購入費等について一定の範囲内で助成しました。 事業実施主体:伊賀白鳳木育推進実行委員会 箇所:伊賀市旧上野庁舎を改修後の児童図書館空間の一部(テラス部分)へ設置予定											
<b>事業に要した主な経費など</b>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:15%;">金額</th> <th style="width:55%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td style="text-align: center;">200,000円</td> <td>森のやすらぎ空間整備事業補助金</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">200,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	200,000円	森のやすらぎ空間整備事業補助金	計	200,000円	
	経費	金額	摘要										
	負担金、補助及び交付金	200,000円	森のやすらぎ空間整備事業補助金										
計	200,000円												

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	<b>項目</b>	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) みえ森と緑の県民税市町交付金 200,000円	
		国県支出金	700	700	200	500		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	700	700	200	500			
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人		0.05 人
			人件費	387	386	386		394
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
<b>会計年度任用職員</b>		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	387	386	386	394				
合計(A+B)	1,087	1,086	586	894				
市民1人当たりのコスト(円)	13	13	7	11				

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	整備箇所数	森のやすらぎ空間を整備した箇所数	箇所	目標	1	1	1	1
				実績	1	1	0	/
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	0%	/	

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<p>来年度は開発・制作した木製備品を新児童図書館空間に制作備品を設置できるようにし、設置時には広報等に取り組む事が必要施ある。また年度により、事業者からの補助事業の申請が無い場合があるため、継続した事業実施に向けて、高校が組織する実行委員会と連携して事業進捗を図る必要があります。</p>
	<b>改善案</b>	<p>建築家、家具デザイナーとの協力を求め、高校との調整を図る。また、ホームページ等による事業広報を行い、当事業の活用を促します。</p>

<b>基本情報</b>		<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>	
	<b>施策</b>	3-3	森林保全・林業	R4 年度～ R6 年度	01-06-02-02-06-10	
	<b>基本事業</b>	②	森林資源の利活用	<b>担当 部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>	木づかい木育推進事業			産業振興部農林振興課	課長 前川 博善 0595-22-9712

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	伊賀市に住む幼児			
	<b>目的</b>	幼児期から木のぬくもりに触れる機会をあたえることで、「木育」のきっかけを作る			
	<b>根拠法令等</b>	みえ森と緑の県民税条例			
	<b>内容</b>	<p>健やかな子どもの成長と木材利用の推進を図るため、「木育」のきっかけとして地域材のフォトフレーム、伊賀産ヒノキの手作り箸キットをプレゼントしました。</p> <p>出生届提出時(木製フォトフレーム) 540個 小学5年生(伊賀産ヒノキの手作り箸キット) 800個</p>			
<b>事業に要した主な経費など</b>		<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	需用費	消耗品費	2,683,586円	木製フォトフレーム 540個 1,277,100円 伊賀産ヒノキの手作り箸キット 800個 1,399,200円 封筒 7,286円	
	役務費	通信運搬費	22,200円	レターパック 60通 22,200円	
		<b>計</b>	2,705,786円		

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	1,551	2,509	2,706	3,017	みえ森と緑の県民税市町交付金 2,705,786円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	
		一般財源	0	0	0	0	
		合計(A)	1,551	2,509	2,706	3,017	
<b>事業費</b>	<b>人件費</b>	正規職員	0.12 人	0.12 人	0.12 人	0.12 人	
		業務量	929	925	925	945	
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	業務量	0	0	0	0		
	会計年度任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	業務量	0	0	0	0		
	小計(B)	929	925	925	945		
	合計(A+B)	2,480	3,434	3,631	3,962		
	市民1人当たりのコスト(円)	29	40	43	47		

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	木育の認識		アンケートで「木育を知っていた」を選択した割合	%	目標	25	26	26
					実績	20	15.6	12.1
指標化できない成果	—		達成	80%	60%	47%		

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	配布した木製品が、着実に木育の推進に繋がっているのかを検証する必要があります。また、木育の認知度が下がっている傾向があります。
	<b>改善案</b>	木製品の配布に併せた木育の啓発を行って行く必要があります。木製フォトフレームの配布と同様に、伊賀産ヒノキの手作り箸キットの配布の際にもアンケートを実施し、アンケート結果を用いて、より事業効果を発揮できるよう改善します。	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-3 森林保全・林業	R元	年度～ R6 年度	01-06-02-02-07-01	
	<b>基本事業</b>	① 森林環境の整備	担当 部署	部・課名等		評価責任者・連絡先
	<b>事務事業名</b>	森林環境譲与税事業		産業振興部農林振興課		課長 前川 博善 0595-22-9712

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	伊賀市内の森林			
	<b>目的</b>	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進を行う			
	<b>根拠法令等</b>	森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律			
	<b>内容</b>	<p>令和元年度から譲与されている森林環境譲与税は、山村地域のこれまで手入れが十分に行われてこなかった森林の整備の進展等を目的とされ創設されました。</p> <p>令和5年度は、令和4年度と同様に未整備協定林の整備事業及び境界明確化事業を実施したことに加えて、伊賀市の山の管理を計画的に進めるため、行政及び林業事業者等(川上・川中・川下)により令和2年7月に立ち上げた伊賀市未来の山づくり協議会において4部会における部会事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森林経営管理意向調査業務委託 408.65ha</li> <li>・未整備協定林整備調査業務委託 90.11ha</li> <li>・未整備協定林整備業務委託 88.33ha</li> <li>・伊賀市未来の山づくり協議会負担金</li> <li>・森林境界明確化事業補助金 276.98ha</li> <li>・伊賀産材ブランド化事業補助金 2947.677㎡</li> <li>・緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金 間伐本数 第1期 1,444本 第3期3,311本</li> <li>・伊賀市森林作業道整備事業補助金 作設5,221m 改修4,635m</li> </ul>			
<b>事業に要した主な経費など</b>	経費	金額	摘要		
	委託料	4,400,000円	森林経営管理意向調査業務委託 委託先:伊賀森林組合		
		3,190,000円	未整備協定林整備調査業務委託料 委託先:伊賀森林組合		
	負担金、補助及び交付金	30,360,000円	未整備協定林整備業務委託 委託先:伊賀森林組合		
		1,257,000円	伊賀市未来の山づくり協議会負担金		
		12,464,000円	森林境界明確化事業補助金		
		1,473,835円	伊賀産材ブランド化事業補助金		
		1,534,450円	緊急間伐・搬出間伐推進事業補助金		
		6,891,000円	伊賀市森林作業道整備事業補助金		
	積立金	10,123,063円	森林環境譲与税基金積立金		
	計	71,693,348円			

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	<b>項目</b>	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		森林環境譲与税譲与金 72,168,000円 森林環境譲与税基金運用益 75,336円
		地方債	0	0	0	0		
		その他	82	15,466	75	77		
		一般財源	68,642	72,900	71,619	87,054		
	合計(A)	68,724	88,366	71,694	87,131			
	<b>事業費</b>	<b>人件費</b>	正規職員	0.72 人	0.72 人	0.72 人		0.72 人
			業務量	5,571	5,548	5,548		5,670
			人件費	5,571	5,548	5,548		5,670
			再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
業務量			0	0	0	0		
人件費	0	0	0	0				
会計年度任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
業務量	0	0	0	0				
人件費	0	0	0	0				
小計(B)	5,571	5,548	5,548	5,670				
合計(A+B)	74,295	93,914	77,242	92,801				
<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>		847	1,087	894	1,088			

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	環境林整備面積	間伐により環境林整備を行った面積	ha	目標	68	180	200	200
				実績	66.48	159.13	101.38	/
指標化できない成果	—	達成	97.8%	88.4%	50.7%	/	/	

<b>方向</b>	<b>改善課題</b>	森林環境税の徴収が令和6年度から開始されるため、今後森林環境譲与税事業への関心が高まることが予想され、森林環境譲与税事業の事業実績及び効果について市民に周知していく必要があります。
	<b>改善案</b>	事業内容の精査を行い、効果を発揮できるような事業を推進します。ホームページ等で森林環境譲与税事業実績の周知及び森林環境整備の必要性について啓発を行います。

整理番号
339 -

決算書頁
263

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)01商工業振興経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～	R6 年度	01-07-01-02-01-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署		評価責任者・連絡先
	事務事業名	商工振興経費	産業振興部商工労働課		課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	関係団体および事業者		
	目的	伊賀市内の商工業の振興・発展のため、関係団体や事業者に対して支援を行う。		
	根拠法令等	中小企業基本法、中小企業振興事業資金利子補給補助金実施要領、小規模事業資金融資制度保証料補助金実施要領など		
	内容	<p>・上野商工会議所及び伊賀市商工会等の関係団体や事業者に対して、商工業者の育成と発展を図ることを目的に、これらが実施する事業に対し財政支援を行いました。</p> <p>・地域経済の維持発展を図るため、市内で起業する者や事業改善を行う者に対し、その経費の一部を補助しました。(15件)</p> <p>・日本政策金融公庫による経営改善貸付制度の設備資金利用者に対する利子補給補助や、小規模事業資金制度の利用者に対し、三重県信用保証協会への支払保証料に対する補助を行いました。</p> <p>・地域循環経済の構築、地域経済の健全な発展、産業基盤の安定・強化を図るため令和4年9月に制定した「伊賀市産業振興条例」の規定に基づき、関係者による「産業振興懇談会」を開催し、情報共有、意見交換等を行いました。</p> <p>【負担金、補助金】 中小企業相談業務負担金(上野商工会議所)、三重県産業支援センター負担金、三重県計量協会負担金、日本貿易振興会三重県情報センター事業運営負担金、商工会議所事業費補助金、中小企業振興事業貸付利子補給補助金、小規模事業資金融資制度保証料補助金、商工会事業費補助金、地域総合整備資金貸付連帯保証料補助金、地域振興活性化事業費補助金、起業・経営革新事業補助金</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	107,680円	消耗品費、印刷製本費 107,680円	
	委託料	150,000円	商業後継者育成事業委託 150,000円	
	負担金、補助及び交付金	55,620,251円	商工会事業費補助金(伊賀市商工会) 23,850,000円 起業・事業承継促進事業補助金 19,179,000円 中小企業相談業務負担金(上野商工会議所) 4,000,000円 地域総合整備資金貸付連帯保証料補助金 2,910,133円 小規模事業資金融資制度保証料補助金 2,771,809円 商工会議所事業費補助金(上野商工会議所) 2,000,000円 地域振興活性化事業費補助金 500,000円 その他 409,309円	
	計	55,877,931円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費		
事業費	直接事業費	国県支出金	3,000		4,500		3,000		3,750	その他(令和6年度事業費の特定財源) ・ふるさと応援基金繰入金:26,250千円 ・地域総合整備資金貸付事業:141,000千円 ・デジタル田園都市国家構想交付金:3,750千円	
		地方債	462,000		0		0		141,000		
		その他	5,800		15,500		15,500		26,250		
		一般財源	34,878		39,981		37,378		40,366		
		合計(A)	505,678		59,981		55,878		211,366		
	人件費	正規職員	業務量	0.60 人		0.55 人		0.60 人			0.60 人
			人件費	4,643		4,238		4,623			4,725
		再任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
			人件費	0		0		0			0
		会計年度任用職員	業務量	0.20 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
人件費	324			0		0		0			
	小計(B)	4,967		4,238		4,623		4,725			
	合計(A+B)	510,645		64,219		60,501		216,091			
	市民1人当たりのコスト(円)	5,820		744		701		2,533			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	商工会議所・商工会会員数	商工会議所・商工会会員数	企業	目標	1,934	2,041	2,041	2,041
				実績	2,041	2,049	2,021	
指標化できない成果	—		達成	105.5%	100.4%	99.0%		

方向	改善課題	商工業を取り巻く環境は日々変化しているが、補助を行っている商工団体等については例年と同内容の事業を行っている。産業振興条例の更なる周知、理念の浸透を図っていく必要がある。
	改善案	I. II. 例年と同じ事業をするのではなく、ブラッシュアップや時代に即した事業を実施いただくよう指導、支援を行う。 I. 産業振興条例に基づく産業振興懇談会を継続開催し、多様な主体との意見交換の場を設ける。

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-02-01	
	<b>基本事業</b>	② 企業立地	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	<b>事務事業名</b>	企業立地促進経費		産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	立地企業、事業者													
	<b>目的</b>	企業を誘致し、税収を上げるとともに、地域の雇用の安定を図る。													
	<b>根拠法令等</b>	工場立地法、伊賀市工場誘致条例													
	<b>内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内3, 269社(全国3, 144社、市内125社)に企業誘致アンケートを送付し、有意回答のあった企業に対して、南部丘陵地の計画や立地した場合の優遇策などについて情報提供を行いました。</li> <li>・立地企業を誘致するため、伊賀市の魅力をPRする伊賀市産業交流セミナーを大阪で開催しました。</li> <li>・伊賀市工場誘致条例に基づき奨励金を交付しました。</li> </ul> <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:30%;">用地取得助成金</td> <td style="width:10%;">1件</td> <td style="width:10%;">10,001,500円</td> <td style="width:50%;"></td> </tr> <tr> <td>立地奨励金</td> <td>3件</td> <td>18,903,750円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雇用促進奨励金</td> <td>1件(10名)</td> <td>1,200,000円</td> <td></td> </tr> </table>			用地取得助成金	1件	10,001,500円		立地奨励金	3件	18,903,750円		雇用促進奨励金	1件(10名)	1,200,000円
用地取得助成金	1件	10,001,500円													
立地奨励金	3件	18,903,750円													
雇用促進奨励金	1件(10名)	1,200,000円													
<b>事業に要した主な経費など</b>	経費	金額	摘要												
	旅費	6,110円	企業訪問 職員旅費	6,110円											
	需用費	131,130円	消耗品費	131,130円											
		1,761円	燃料費	1,761円											
	役務費	134,612円	企業誘致アンケート返信郵送代	8,112円											
			企業誘致アンケート調査対象企業抽出業務手数料等	126,500円											
	委託料	1,000,000円	産業交流セミナー開催業務委託	1,000,000円											
	使用料及び賃借料	11,170円	有料道路通行料(大阪)	11,170円											
	負担金、補助及び交付金	30,405,250円	三重TLO特別会員負担金	300,000円											
			工場誘致奨励金	30,105,250円											
	計	31,690,033円													

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	<b>項目</b>	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) その他(令和6年度事業費の特定財源) ・デジタル田園都市国家構想交付金:3,500千円	
		国県支出金	0	0	0	3,500		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	53,011	32,193	31,691	66,258		
	合計(A)	53,011	32,193	31,691	69,758			
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.60 人	0.60 人	0.40 人		2.00 人
			人件費	4,643	4,623	3,082		15,748
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
<b>会計年度任用職員</b>		業務量	0.10 人	0.00 人	0.10 人	0.00 人		
	人件費	162	0	168	0			
小計(B)	4,805	4,623	3,250	15,748				
合計(A+B)	57,816	36,816	34,941	85,506				
市民1人当たりのコスト(円)	659	427	405	1,002				

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	優遇措置等説明企業数	アンケート有意企業への訪問数、説明数	件	目標	10	10	10	10
				実績	8	12	10	/
指標化できない成果	—		達成	80.0%	120.0%	100.0%	/	

<b>方向</b>	<b>充実</b>	<b>課題</b>	立地企業の誘致活動を行ううえでの課題は、現行の制度は平成16年に制定されており、近年めまぐるしく変わる社会情勢や企業のニーズに対応する必要があるため、伊賀市の独自の強みも考慮した奨励措置の見直しが必要である。
	<b>改善案</b>	立地希望企業のインセンティブである立地奨励金の見直しについては、過年度より様々な企業訪問を通じて得られた情報なども活用し、実効性ある奨励制度の見直しを進めていく。	

整理番号	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)03中心市街地等商店街活性化事業	決算書頁
341 -		265

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-03-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署	部・課名等
	事務事業名	中心市街地等商店街活性化事業	産業振興部商工労働課	評価責任者・連絡先 課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	中心市街地等の商店及び商店街、上野商工会議所、まちづくり伊賀上野等										
	目的	商店街などの誘客活動を支援することで、中心市街地における歩行者等の通行量を増加させ、にぎわい回復を目指します。										
	根拠法令等											
内容	<p>①市民夏のにぎわいフェスタ2023…8/19「まちなかの魅力再発見」をテーマに、新型コロナの影響で中止していた歩行者天国を復活させ、分散型のイベントと掛け合わせたハイブリッド型のイベントを実施しました。</p> <p>②灯りの城下町事業…10/6、10/7、10/8に行灯、竹灯りで風情・賑わいのあるまちを演出するとともに、飲食店の参画を得て城下町バルを実施しました。</p> <p>③灯りの芭蕉路事業…灯りの城下町の実施に合わせて灯りの設置等を行うとともに城下町バルとの連携で城下町バルストリートを開催し、その他芭蕉翁生家の無料拝観、だんじりのお囃子公開練習を実施しました。</p> <p>④上野中町商店会活性化事業…灯りの城下町の実施に合わせて中町まつりを開催し、年末感謝キャンペーンとしてQRコードを使った店舗PRを実施しました。</p> <p>⑤伊賀上野まちなかゼミナール開催事業…商店街等の店主やスタッフによる講座形式で魅力、技術、知識を伝え、誘客に繋げました。</p> <p>⑥伊賀上野まち百貨店…毎月第1土曜日に各個店でその日しか味わえない催しを連携して開催し、個店の魅力発信、顧客づくりに努めました。</p> <p>⑦銀座商店街賑わい創出事業…交流拠点のギャラリーを活用した各種イベント関連の展示や組合員のイベントへの出展を行うとともに、七夕笹飾りコンクールを実施して魅力発信を行いました。</p>											
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>2,698,246円</td> <td>市民夏のにぎわいフェスタ2023(フェスタ実施委員会) 1,104,000円 灯りの城下町事業(上野商工会議所) 240,000円 灯りの芭蕉路事業(灯りの芭蕉路実行委員会) 54,135円 上野中町商店会活性化事業(上野中町商店会) 393,564円 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業(上野商工会議所) 265,000円 伊賀上野まち百貨店(絃まちづくり伊賀上野) 196,547円 銀座商店街賑わい創出事業(伊賀上野銀座商店街振興組合) 445,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>2,698,246円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	2,698,246円	市民夏のにぎわいフェスタ2023(フェスタ実施委員会) 1,104,000円 灯りの城下町事業(上野商工会議所) 240,000円 灯りの芭蕉路事業(灯りの芭蕉路実行委員会) 54,135円 上野中町商店会活性化事業(上野中町商店会) 393,564円 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業(上野商工会議所) 265,000円 伊賀上野まち百貨店(絃まちづくり伊賀上野) 196,547円 銀座商店街賑わい創出事業(伊賀上野銀座商店街振興組合) 445,000円	計	2,698,246円			
経費	金額	摘要										
負担金、補助及び交付金	2,698,246円	市民夏のにぎわいフェスタ2023(フェスタ実施委員会) 1,104,000円 灯りの城下町事業(上野商工会議所) 240,000円 灯りの芭蕉路事業(灯りの芭蕉路実行委員会) 54,135円 上野中町商店会活性化事業(上野中町商店会) 393,564円 伊賀上野まちなかゼミナール開催事業(上野商工会議所) 265,000円 伊賀上野まち百貨店(絃まちづくり伊賀上野) 196,547円 銀座商店街賑わい創出事業(伊賀上野銀座商店街振興組合) 445,000円										
計	2,698,246円											

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) その他(令和6年度事業費の特定財源) ・ふるさと応援基金繰入金:1,500千円
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他	699	1,104	1,104	1,500	
		一般財源	1,628	1,700	1,595	2,180	
	合計(A)	2,327	2,804	2,699	3,680		
	事業費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.30 人	0.30 人
			人件費	1,935	1,927	2,312	2,363
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.05 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	81	0	0	0		
小計(B)	2,016	1,927	2,312	2,363			
合計(A+B)	4,343	4,731	5,011	6,043			
市民1人当たりのコスト(円)	50	55	58	71			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	目標達成事業数	補助団体が補助金の交付申請時に各自設定する目標を達成した事業数	件	目標	4	7	7
				実績	1	3	5
指標化できない成果	—	達成	25.0%	42.9%	71.4%		

方向	改善課題	中心市街地のにぎわい創出のために必要な事業であるが、数年間同じ内容の事業がある。
	改善案	I、II. 予算要求の際に、申請予定者に事業計画書(予算要望資料)の提出を求める。また、事業計画書の提出にあたり、各申請者により実績や目標達成状況の検証、中長期計画等に基づく事業となるよう指導を行う。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-04-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	交流促進施設維持管理経費	産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	道の駅あやま利用者		
	目的	道の駅の利用者に対し、地域情報を提供するとともに、地域産業の振興を図る。		
	根拠法令等	伊賀市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例		
	内容	<p>阿山交流促進施設(道の駅あやま)の運営、施設及び設備の維持管理について、指定管理包括協定及び年度協定に基づき引き続き阿山物産振興協同組合による管理、運営を行いました。(5年のうち2年目)</p> <p>中部ブロック道の駅連絡会活性化会議において、道の駅あやまの取り組み状況を事例報告しました。</p> <p>【指定管理の内容】 道の駅利用者に対し、地域情報や道路情報等を提供するとともに、トイレ等の休憩施設を提供する。また、自主事業により地場産品の販売、飲食の提供等を行う。</p> <p>公共施設最適化方針に基づき、隣接するあやま文化センター、阿山ふるさとの森公園とともに民間活力の導入検討を行いました。民間事業者への契約による運営の移管には至らず、指定管理を継続することになりました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	543,400円	道の駅あやま場内駐車場舗装修繕工事	543,400円
	委託料	4,000,000円	交流促進施設指定管理料	4,000,000円
	負担金、補助及び交付金	70,000円	道の駅連絡会負担金	70,000円
	計	4,613,400円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	令和6年度予算については、民生事業の状況により当初予算計上は行わず、令和6年3月に補正により指定管理料4,000千円を計上している。
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	4,070	5,027	4,614	0	0			
		合計(A)	4,070	5,027	4,614	0	0			
	人件費	正規職員	業務量	0.30 人	0.40 人	0.20 人	0.20 人			
			人件費	2,322	3,082	1,541	1,575			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.05 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
人件費	81	0	0	0						
小計(B)	2,403	3,082	1,541	1,575						
合計(A+B)	6,473	8,109	6,155	1,575						
市民1人当たりのコスト(円)	74	94	72	19						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	施設利用者数	施設全体の利用者数(推計値) ※物産コーナー利用者×4人	人	目標	220,000	220,000	220,000	220,000
				実績	176,000	192,870	190,256	
指標化できない成果	—		達成	80.0%	87.7%	86.5%		

方向	改善課題	<p>コロナ禍の収束により入込、売り上げが回復傾向にあるため、さらなる増加を目指し適正管理、販売促進を進める必要がある。</p> <p>開設後約20年が経過しているため、施設の老朽化が進んでいる。</p> <p>民間委託、民間活力導入検討が頓挫したことにより先行きが不透明となっている。</p>
	改善案	<p>I. II. 施設の適正管理による快適な利用空間の提供やイベントの実施などを継続するとともに、他の道の駅等と連携した取り組みを強化する。</p> <p>I. 施設の維持に必要な修繕を順次実施する。</p> <p>I. 民間委託、民間活力導入に関する情報収集に努め、関係者への情報提供を迅速に行う。</p>

整理番号 343 -	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)05産学官連携研究開発拠点 運営経費	決算書頁 265
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-6 就業・起業	H21 年度～ R6 年度	01-07-01-02-05-01
	基本事業	② 創業支援	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	産学官連携研究開発拠点運営経費	担当 部署	産学振興部商工労働課 課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	伊賀地域で起業を考えている個人及び2次起業を考えている法人													
	目的	地域資源の活用による地域産業の活性化と新産業の創出													
	根拠法令等	産学官連携伊賀研究拠点施設の設置及び運営管理に関する協定													
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」を運営している伊賀市文化都市協会に対し、運営管理経費の一部を補助しました。</li> <li>市内外事業者等8件の共同研究、技術相談を実施したほか、理科教育振興のため出前授業を実施するなど地域産業の活性化とともに次世代育成に取り組みました。</li> <li>小学生を対象とした「こども大学」を2回開催し、理科系人材育成に向けた理科実験授業を行いました。(第28回:36名、第29回:32名)</li> <li>新規創業者や経営者等を対象に、情報交流カフェを開催しました。(10月:50名、3月:46名)</li> <li>三重大学産学官連携セミナーin伊賀を開催しました。</li> <li>インキュベーションマネージャーを1名配置し、創業・企業等の相談・訪問を389件行いました。</li> <li>インキュベーション室への新規入居が1件あり、インキュベーションマネージャーによる創業や経営についてのアドバイスを随時行いました。(現在の入居数:4件(4部屋、3ブース 計7件中)</li> <li>三重大学、文化都市協会、市の三者が連携して、三重大学伊賀研究拠点全体会議・共同研究施設運営委員会・産学官連携伊賀研究拠点WG会議を開催し、ゆめテクノ伊賀に関連する取組について関係団体と情報共有・意見交換を行いました。</li> </ul>													
事業に要した 主な経費 など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>984,000円</td> <td>駐車場借上料 984,000円</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>19,066,000円</td> <td>施設管理運営補助金 19,066,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>20,050,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	使用料及び賃借料	984,000円	駐車場借上料 984,000円	負担金、補助及び交付金	19,066,000円	施設管理運営補助金 19,066,000円	計	20,050,000円			
経費	金額	摘要													
使用料及び賃借料	984,000円	駐車場借上料 984,000円													
負担金、補助及び交付金	19,066,000円	施設管理運営補助金 19,066,000円													
計	20,050,000円														

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	19,362	20,050	20,050	21,638				
		合計(A)	19,362	20,050	20,050	21,638				
	人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.25 人	0.30 人	0.30 人			
			人件費	1,935	1,927	2,312	2,363			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.01 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
人件費	17	0	0	0						
小計(B)	1,952	1,927	2,312	2,363						
合計(A+B)	21,314	21,977	22,362	24,001						
市民1人当たりのコスト(円)	243	255	259	282						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	共同研究の成立数	共同研究の成立数	件	目標	10	10	10	10
				実績	7	8	8	
指標化できない成果	—	達成	70.0%	80.0%	80.0%			

方向	改善	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業について市内では認知度が低く、より多くの市民や市内企業に関心を持ってもらう必要がある。</li> <li>設備や研究機器の老朽化が進んでいる。</li> </ul>
	改善案		I. II. 本事業について市民や市内企業に周知を行い、認知度の向上を目指すとともに、利用促進を図る。また、今後のあり方について文化都市協会や三重大学などの関係機関とともに検討を進める。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	R4 年度～ R6 年度	01-07-01-02-06-03
	基本事業	① 商工業の活性化	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	営業本部活動事業	担当部署 産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	関西圏、中部圏、首都圏を最重要エリアとする国内外		
	目的	食、物産、観光、歴史、文化、産業、それらに関わる人などの魅力を効果的に発信し、観光客の増加や地元産品の販路拡大につなげ、伊賀市の賑わいづくりや産業の振興に資する。		
	根拠法令等			
	内容	<p>【商工労働課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全ての職員が営業担当者である営業本部の事務局として、庁内で実施される事業について情報収集、共有を行いました。</li> <li>伊賀ブランド推進協議会に対し補助金を交付し、伊賀ブランド「IGAMONO」の知名度アップや価値向上、事業者の生産意欲や販売意欲の向上、新たな事業展開への創出を支援しました。</li> </ul> <p>【農林振興課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園2023で、伊賀米の振興を図るため、オリジナル丼を販売し啓発をおこないました。</li> <li>大阪天神橋筋商店街において、「伊賀産品季節のアンテナショップ」を開催し伊賀米など伊賀産品の販売PRを行いました。</li> </ul> <p>【観光戦略課】</p> <p>2025年に開催予定の大阪関西万博に向け、関西圏での誘客プロモーションとして次の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大阪城公園を管理する大阪城パークマネジメント(株)が主催する「大阪城秋祭り2023」において、大阪城を訪れるインバウンドを対象とした誘客プロモーションおよび来訪意向調査を実施しました。</li> <li>伊賀市および(公財)大阪観光局と連携し、2月22日の忍者の日に、「なんば広場」において忍者プロモーションイベント「忍びの里 伊賀・甲賀 Feel Like Ninja22 Live in Osaka」を実施しました。</li> <li>大阪天神橋筋商店街との共催で、3月9日に伊賀上野NINJAフェスタin天神橋筋商店街を開催しました。</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	255,120円	伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園旅費(農林振興課) 198,520円 伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園旅費(観光戦略課) 56,600円	
	委託料	1,589,500円	関西圏誘客促進にかかる情報発信業務委託料(観光戦略課) 825,000円 関西圏誘客プロモーション調査業務委託(観光戦略課) 764,500円	
	使用料及び賃借料	9,760円	有料道路通行料(商工労働課) 9,760円	
	負担金、補助及び交付金	3,000,000円	伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会負担金(観光戦略課) 500,000円 伊賀ブランド推進事業費補助金(商工労働課) 2,500,000円	
	計	4,854,380円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	6,226	1,250	1,250	0		令和5年度の人件費の業務量は商工労働課、農林振興課、観光戦略課の合算値を記載、令和6年度は農林振興課分のみ記載
		地方債	0	0	0	0		
		その他	2,159	1,342	1,307	0		
		一般財源	8,654	6,945	2,298	672		
	合計(A)	17,039	9,537	4,855	672			
	事業費	正規職員	業務量	1.35 人	1.50 人	2.10 人	0.70 人	
			人件費	10,445	11,558	16,181	5,512	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.11 人	0.44 人		
		人件費	0	0	185	782		
小計(B)	10,445	11,558	16,366	6,294				
合計(A+B)	27,484	21,095	21,221	6,966				
市民1人当たりのコスト(円)		314	245	246	82			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	営業活動件数	営業本部における重点取組に位置付けられた事業、取り組み等の件数	件	目標	—	20	22	22
				実績	—	22	37	—
指標化できない成果	—		達成	—	110.0%	168.2%	—	

方向	統合	<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・営業本部における重点取組への位置付け事業については、各課が主体となり他課と連携して行う事業で構成されるため、商工労働課、観光戦略課の記載事業については令和6年度から他の事務事業に振り替えを行う。ただし農林振興課では、令和6年度においても、記載事業として大阪天神橋筋商店街での「伊賀産品季節のアンテナショップ」の開催を予定しているため、令和7年度から他の事務事業に振り替えを行うなど令和6年度中に調整を行う必要がある。</li> <li>・大阪関西万博に向けた効果的な営業活動の検討について着手する必要がある。</li> </ul>
	改善案	<p>I. 営業本部における重点取組への位置付け事業については、各課が主体となり他課と連携して行う事業で構成されるため、農林振興課の記載事業を他の事務事業への予算振り分け、統合について整理し、令和7年度から本事務事業を廃止する。</p> <p>II. 各課の連携により効果の高い取り組みを推進する。</p>

整理番号
345 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)02商工振興費(大事業)07地場産業振興事業

決算書頁
265

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-02-07-01
	基本事業	① 商工業の活性化	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	地場産業振興事業		産業振興部商工労働課

事務事業の概要	対象	物産振興団体		
	目的	地場産業の振興、伝統工芸品産業(伊賀焼・伊賀組紐)の振興を図る		
	根拠法令等	伝統的工芸品産業の振興に関する法律		
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀焼伝統産業会館の管理について、指定管理者包括協定に基づき伊賀焼振興協同組合に委託を行い、令和5年度が指定期間の最終年度となることから、次期指定管理者の選定を行い、引き続き伊賀焼振興協同組合を令和6年度から5年間の指定管理者としました。</li> <li>伝統的工芸品である伊賀組紐及び伊賀焼の普及、振興のため、三重県組紐協同組合、伊賀焼振興協同組合に対し補助を行いました。</li> <li>「上野天神祭のダンジリ行事」としてユネスコ無形文化遺産に登録された上野天神祭に合わせ開催した「じばさんまつり」や、市内外の観光・物産展への出展等、地場産業の普及・PRを年間を通じて行いました。</li> </ul>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	旅費	348,880円	伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園旅費	348,880円
	需用費	75,000円	消耗品費(じばさんまつり景品代)	75,000円
		83,600円	修繕料	83,600円
	委託料	5,334,000円	伊賀焼伝統産業会館指定管理料	4,248,000円
			伊賀伝統伝承館設備保守点検業務委託料	286,000円
			地場産業振興事業委託料	800,000円
	使用料及び賃借料	95,700円	伊賀上野NINJAフェスタin天神橋筋商店街出店者バス借上料	95,700円
	負担金、補助及び交付金	497,000円	伝統的工芸品産業振興協会負担金	50,000円
			伝統的工芸品産業振興補助金(伊賀焼、伊賀くみひも)	447,000円
	計	6,434,180円		

全体コスト(千円)	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) その他(令和6年度事業費の特定財源) ・ふるさと応援基金繰入金:752千円 ・観光施設整備事業:21,300千円 ・デジタル田園都市国家構想交付金:1,250千円
		国県支出金	2,480	0	0	1,250	
		地方債	0	0	0	21,300	
		その他	0	406	406	752	
		一般財源	5,888	6,537	6,029	8,493	
		合計(A)	8,368	6,943	6,435	31,795	
	事業費	正規職員	業務量	0.30 人	0.25 人	0.30 人	0.30 人
			人件費	2,322	1,927	2,312	2,363
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.15 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	243	0	0	0		
	小計(B)	2,565	1,927	2,312	2,363		
	合計(A+B)	10,933	8,870	8,747	34,158		
	市民1人当たりのコスト(円)	125	103	102	401		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	伊賀焼伝統産業会館・伊賀伝統伝承館の来客数	伊賀焼伝統産業会館・伊賀伝統伝承館の来客数	人	目標	15,000	22,000	22,000
				実績	13,416	19,955	18,270
指標化できない成果	—	達成	89.4%	90.7%	83.0%		

方向	改善課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統工芸品の次世代への継承について、担い手不足による事業衰退が懸念される。</li> <li>施設の老朽化に伴い、大規模修繕を見据えた維持管理を行っていく必要がある。</li> </ul>
	改善案	I. II. 積極的なPR活動により業界自体の認知度を高めることで、後継者育成につなげていく。また、施設の機能維持を図るため、様々な財源の活用を考慮しながら、保守、修繕に努める。

整理番号
346 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費

決算書頁
267

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	H16 年度～ R6 年度	01-07-01-03-01-04
	基本事業	① 観光誘客と情報発信	担当部署	部・課名等
	事務事業名	観光情報等発信経費	総務部秘書広報課	評価責任者・連絡先 課長 川口 光博 0595-22-9600

事務事業の概要	対象	国内・外の観光客、食材扱い業者		
	目的	伊賀市の観光地や特産品などの情報を広く発信し、観光客増加、特産品の市外への販路を拡大する。		
	根拠法令等	観光振興ビジョン、シティプロモーション指針、伊賀市広報戦略指針		
	内容	<p>トップセールスによる誘客及び「伊賀市」「伊賀産(いがもの)」のPR活動を行いました。</p> <p>1. 観光誘客のためのPR活動(伊賀流忍者、伊賀上野城、俳聖松尾芭蕉生誕の地) ・首都圏及び大阪における伊賀市のPR活動</p> <p>2. 伊賀産(いがもの)の販売と販路拡大のためのPR活動(伊賀牛、伊賀米、伊賀酒、伊賀焼など)</p> <p>3. 地域振興のためのトップセールス</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	99,102円	観光誘客PR	
	需用費	673,204円	消耗品費(PR用記念品等)	
	役務費	9,680円	手数料	
	使用料及び賃借料	5,860円	駐車場借上料	
	計	787,846円		

項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
		一般財源	844	1,367	788	1,268
		合計(A)	844	1,367	788	1,268
事業費	正規職員	業務量	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.02 人
		人件費	155	155	155	158
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
		人件費	0	0	0	0
	会計年度任用職員	業務量	0.20 人	0.20 人	0.20 人	0.20 人
		人件費	324	336	336	356
小計(B)	479	491	491	514		
合計(A+B)	1,323	1,858	1,279	1,782		
市民1人当たりのコスト(円)		16	22	15	21	

指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
伊賀市の認知度	地域ブランド調査による伊賀市の認知度のスコアから、トップセールスの効果を表す。	位	目標	200	200	190	180
			実績	210	188	181	
			達成	95%	106%	105%	
指標化できない成果	—						

方向	改善	課題	これまで、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いトップセールスの機会が限定され、十分なPRができていなかった。
	改善案		市外へ出向いてのトップセールスに加え、市外からの来客にもPR用記念品等を活用した取り組みにも心掛ける。今後、トップセールスの効果が表れるような機会に注視し、PRを行う。

整理番号
347 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費

決算書頁
267

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-1 観光	H30 年度～ R6 年度	01-07-01-03-01-07
	基本事業	① 観光誘客と情報発信	担当部署	部・課名等
	事務事業名	忍者市プロジェクト事業	産業振興部観光戦略課	評価責任者・連絡先 課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客、市民		
	目的	「忍者」を入り口・切り口として当市の地域資源を効果的にプロモーションするとともに、受け入れ体制の充実を図る。		
	根拠法令等			
	内容	<p>■忍者体験施設整備業務委託料          中心市街地のにぎわい創出に向けて、上野公園から城下町エリア(忍者体験施設周辺)を結ぶ導線を「にぎわい忍者回廊」と位置づけ、エリア内の公共施設や民間施設の一体的な利活用について民間活力を導入し、PFI方式による施設整備(忍者体験施設整備:周辺エリアを包括的に捉えたエリアマネジメントによるまちなみづくり拠点及び観光まちづくり拠点の整備)を推進しており、令和5年度は次の取組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・忍者体験施設実施設計業務</li> <li>・忍者体験施設確認申請等の手続き業務</li> <li>・忍者体験施設工事の一部</li> <li>・忍者体験施設工事監理業務</li> </ul> <p>■首都圏情報発信事業委託料          「伊賀上野NINJAフェスタin上野恩賜公園」を(11/23～26)に開催し、延べ約166,880人の来場があり、忍者体験コンテンツやステージアトラクション、物産販売を通じて伊賀の魅力を発信した。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	229,936,000円	忍者体験施設整備業務委託料	222,500,000円
			首都圏情報発信事業委託料	7,436,000円
	謝礼	1,035,000円	にぎわい忍者回廊整備事業におけるPFI事業に係るアドバイス謝礼	1,035,000円
	旅費	763,068円		763,068円
	計	231,734,068円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	22,801	55,000	57,845	1,248		【国県支出金】
		地方債	0	133,800	133,800	200,200		・デジタル田園都市国家構想交付金
		その他	22,670	0	0	0		57,845,000円
		一般財源	730	53,985	40,090	31,357		【地方債】
	合計(A)	46,201	242,785	231,735	232,805	・商工債 観光施設整備事業	133,800,000円	
	事業費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	1.47 人	1.47 人	
			人件費	15,474	15,410	11,327	11,575	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0		
	小計(B)	15,474	15,410	11,327	11,575			
	合計(A+B)	61,675	258,195	243,062	244,380			
	市民1人当たりのコスト(円)	703	2,988	2,813	2,864			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	市の認知度	地域ブランド調査(全国1,000市町村を対象としたランキング)	位	目標	200	190	180
				実績	210	188	181
指標化できない成果	—	達成	95.24%	103%	99.45%		

方向	改善課題	<p>①SPC(にぎわいパートナーズ)によるPFI事業のモニタリングを適切に実施する必要がある。</p> <p>②にぎわい忍者回廊のエリアにおける受入環境整備を進める必要がある。</p> <p>③忍者の聖地としてのブランディング及びその情報発信をより効果的に行う必要がある。</p>
	改善案	<p>①必要に応じ、有識者や専門家へのアドバイスを求めながら、モニタリングを適切に行う。</p> <p>②上野公園周辺における未利用の市有観光施設について、民間活力導入を含めた利活用方針を検討する。また、外国人旅行者に対応したサイン整備を行う。</p> <p>③忍者体験施設オープンに係るプロモーションをSPCと協力、役割分担し行う。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-中-事業
	施策	3-1 観光	R3 年度～	R6 年度	01-07-01-03-01-08
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光振興管理経費	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客			
	目的	行政として観光振興に資する事業を行うとともに、テーマや地域の魅力ある観光資源に関連する広域観光連携を推進することにより観光客の増加を図る。			
	根拠法令等				
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>伊賀市観光大使による情報発信・PR活動を支援した。新たにOSK日本歌劇団 椿りょう氏を伊賀市観光大使に任命した。</li> <li>テーマ等や地域に関連する広域観光協議会等に参画し、情報共有及び連携を図った。</li> <li>[協議会]忍びの里伊賀甲賀忍者協議会、日本忍者協議会、伊賀流忍者観光推進協議会、国際忍者学会、三重県観光連盟、東海地区外国人観光客誘致促進協議会、歴史街道推進協議会、伊賀上野観光協会、室生赤目青山国定公園協会、東大和西三重観光連盟、鈴鹿国定公園協会、東海自然歩道連絡協会、忍びの里伊賀創生プロジェクト</li> <li>地域活性化企業人制度や地域力創造アドバイザー制度を活用し、観光地域づくりに資する企画立案業務を委託した。</li> </ul>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	負担金、補助及び交付金	11,854,000円	地域活性化企業人事業負担金	3,728,000円	
	委託料	5,449,000円	各種協議会負担金	8,126,000円	
			地域活性化起業人等活動支援事業委託料	4,399,000円	
			ライトアップ業務委託料	550,000円	
			観光ポスター作成業務委託料	500,000円	
	使用料及び賃借料	151,750円	有料道路通行料・駐車場借上料・入場料	151,750円	
	旅費	539,780円	旅費	539,780円	
	需用費	160,190円	消耗品費	160,190円	
	積立金	434,613円	観光振興基金積立金	434,613円	
	計	18,589,333円			

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国庫支出金	195	411	250	0	0	0	0	【国庫支出金】 ・デジタル田園都市国家構想交付金 249,050円 【その他】 ・観光振興基金利子 434,613円 ・観光振興寄附金 46,776円
		地方債	5,300	0	0	0	0	0	0	
		その他	8,700	518	482	489	489	489	489	
		一般財源	46,011	17,509	17,858	21,950	21,950	21,950	21,950	
		合計(A)	60,206	18,438	18,590	22,439	22,439	22,439	22,439	
	人件費	正規職員	業務量	1.80 人	1.50 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	2.00 人	
			人件費	13,927	11,558	15,410	15,748	15,748	15,748	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	
	人件費	1,213	1,260	1,260	1,332	1,332	1,332			
	小計(B)	15,140	12,818	16,670	17,080	17,080	17,080	17,080		
	合計(A+B)	75,346	31,256	35,260	39,519	39,519	39,519	39,519		
	市民1人当たりのコスト(円)	859	362	409	464	464	464	464		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	来訪者の満足度	DMOの来訪者アンケート(10段階評価の8~10と回答した人の割合)	%	目標	54	56	58	60
				実績	51.94	57.52	57.90	
指標化できない成果	—		達成	96.19%	102.71%	99.82%		

方向	改善	課題	観光客の行動範囲の拡大やニーズの多様化により、一つの観光地だけで観光客を満足させることは難しくなっている。また、外国人観光客は旅行日程が長いことから、特にその傾向が強い。選ばれる観光地となるため、広域的な観光エリア間の連携により観光資源の魅力を相乗させ訴求力を強化させる必要がある。
	改善案	改善案	広域観光連携を継続・増強させ、従来の観光地単位(点)での観光を、エリア(面)で捉え、広域周遊ルートの造成等によりインパクトと魅力ある圏域づくりを推進させる。

整理番号	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)01観光振興経費	決算書頁
349 -		267

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-1 観光	R3 年度～ R6 年度	01-07-01-03-01-09
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光地域づくり支援事業	担当部署	課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客、観光客を受け入れようとする市民(団体)											
	目的	地域資源の観光商品化及び観光客を受け入れる組織の育成、市内に滞在・周遊してもらえる商品の開発と情報発信を行い観光客の増加を図る。											
	根拠法令等												
	内容	<p>◇観光地域づくり法人(DMO)を中心に多様な主体が連携・協力し、施策づくりや情報発信をはじめ、観光を産業として確立すべく、総合的な観点から観光まちづくりを推進した。</p> <p>事業① マーケティングデータ収集・分析 →来訪者スマホアンケート調査の実施およびデータ分析(データ数:約1600件)</p> <p>事業② プレイングランディング/情報発信→伊賀市公式観光情報サイト「伊賀イド」の制作、運営を開始、(一社)アーバンツーリズム大阪・船場との連携により、大阪エリアでのプロモーションイベントを実施(「くノ一現る」19/1～3、「大阪城秋祭り2023」11/4)、ツーリズムEXPO2024出展 10/26～10/29 インテックス大阪</p> <p>事業③ 旅行商品開発・販売およびその支援→観光庁「歴史的資源を活用した観光まちづくりモデル事業(MIRAIGAプロジェクト)」</p> <p>事業④ 観光人材育成事業 →「観光まちづくり企画塾」新しいお土産物開発(4件)(企画塾参加者20名)</p> <p>事業⑤ 持続可能なDMO運営体制構築 →イガコレ観光EXPO(市民 向け啓発事業)の開催</p> <p>◇伊賀ふらり体験博覧会「いがぶら」の開催支援</p> <p>地域全体で観光客を受け入れる態勢づくりのため観光客を受け入れる事業主体の発掘及び育成事業として伊賀ふらり体験博覧会「いがぶら」を実施。令和5年度は春秋の2回開催となった。</p> <p>いがぶら2023(プログラム数/参加人数/売上)</p> <p>春(27個/359人/1,360,280円)、秋(101個/1594人/6,567,500円)</p>											
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>31,056,800円</td> <td>DMO事業推進負担金 22,756,800円 いがぶら実行委員会負担金 5,100,000円 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会負担金 3,200,000円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>166,720円</td> <td>旅費 166,720円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>31,223,520円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	負担金、補助及び交付金	31,056,800円	DMO事業推進負担金 22,756,800円 いがぶら実行委員会負担金 5,100,000円 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会負担金 3,200,000円	旅費	166,720円	旅費 166,720円	計	31,223,520円	
経費	金額	摘要											
負担金、補助及び交付金	31,056,800円	DMO事業推進負担金 22,756,800円 いがぶら実行委員会負担金 5,100,000円 伊賀上野NINJAフェスタ実行委員会負担金 3,200,000円											
旅費	166,720円	旅費 166,720円											
計	31,223,520円												

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接事業費	国県支出金	13,259		13,550		13,929		16,910		【国県支出金】 ・デジタル田園都市国家構想交付金 10,705,000円
	地方債	0		0		0		0		
	その他	10,609		0		0		2,250		
	一般財源	2,693		17,688		17,295		15,034		
	合計(A)	26,561		31,238		31,224		34,194		
事業費	正規職員	業務量	2.50 人	3.00 人	3.00 人	2.50 人				
		人件費	19,343	23,115	23,115	19,685				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	0.80 人				
		人件費	1,617	1,679	1,679	1,421				
小計(B)		20,960	24,794	24,794	21,106					
合計(A+B)		47,521	56,032	56,018	55,300					
市民1人当たりのコスト(円)		542	649	649	648					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	観光消費額		三重県観光レクリエーション入込客数推計書:伊賀地域の観光客の消費単価(宿泊・日帰りの平均)	円	目標	12,154	13,188	14,222
					実績	11,827	11,834	11,979
指標化できない成果	—		達成	97.3%	89.7%	84.2%		

方向	充実	課題	<p>①いまだ観光入込客数がコロナ前水準に戻っていない</p> <p>②観光地域づくり法人の事業運営について、実施すべき業務量に対して人員が不足している。</p>
	改善案	<p>①DMOとの連携により、旅者のニーズを把握し、旅行前に適した情報発信を行うとともに、都市圏におけるPRを行い、関西圏を中心とした都市部からの観光客を増加させる。</p> <p>②地域おこし協力隊を登用し、地域民間事業者との連携・役割分担により業務量の最適化を行う。地域活性化起業人制度を活用し、観光地域づくり法人の運営支援等を積極的に行う。</p>	

整理番号
350 -

(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)03観光費(大)02観光施設維持管理事業

決算書頁
269

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大-事業-中-事業
	施策	3-1 観光	H16 年度～	R6 年度	01-07-01-03-02-01
	基本事業	② 観光客の受け入れ	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	観光施設維持管理事業	担当部署	産業振興部観光戦略課	課長 山田 靖子 0595-22-9670

事務事業の概要	対象	観光客		
	目的	観光施設の維持管理により、観光客が気持ちよく利用できる環境づくりを行う。		
	根拠法令等			
	内容	<p>【観光戦略課】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>来訪者の満足度及び利便性の向上のため、観光施設及び便益施設の運営・維持管理を行った。</li> <li>[対象施設]伊賀市観光案内所、だんじり会館、阿山ふるさとの森公園、東海自然歩道、白藤滝、奥余野公園、霊山、霊山寺休憩所及び公衆便所、新大仏寺路傍休憩地、ふるさと公園、青山高原山頂小屋、尼ヶ岳、桜山公園、兼好塚</li> <li>老朽化している観光案内サインの修繕・撤去を行った。</li> </ul> <p>【大山田支所】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>千戸道路公園及び路傍休憩地の維持管理を行った。</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	5,471,922円	消耗品費・燃料費・光熱水費・修繕料 5,471,922円	
	役務費	1,436,293円	通信運搬費・浄化槽清掃手数料等 1,425,759円	
	委託料	42,758,689円	傷害保険料・動産保険料 10,534円 だんじり会館指定管理料 21,553,000円 観光施設維持管理業務委託料 6,871,479円 阿山ふるさとの森公園管理運営委託料 5,909,200円 観光案内所業務委託料 7,095,000円 浄化槽清掃等保守点検業務委託料等 1,330,010円	
	使用料及び賃借料	1,498,935円	霊山トイレ用地借上料等 1,421,495円	
	工事請負費	143,000円	観光案内看板撤去費 143,000円	
	計	51,308,839円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接事業費	国県支出金	2,107		3,220		3,251		2,393	【国県支出金】 東海自然歩道管理委託金 1,113,960円 ふるさと公園維持管理委託金 2,136,451円 【その他】 公園施設使用料 3,767,445円 売上収入 55,378円 備品貸付料 938,634円	
		地方債	0		0		0		0		
		その他	0		4,494		4,762		0		
		一般財源	9,645		54,798		43,296		28,526		
		合計(A)	11,752		62,512		51,309		30,919		
	人件費	正規職員	業務量	0.62 人		1.60 人		1.67 人			1.47 人
			人件費	4,797		12,328		12,868			11,575
		再任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
			人件費	0		0		0			0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.50 人			0.50 人
	人件費	0		0		840		888			
	小計(B)	4,797		12,328		13,708		12,463			
	合計(A+B)	16,549		74,840		65,017		43,382			
	市民1人当たりのコスト(円)	189		867		753		509			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	委託者との運営協議回数		各施設において、委託者と施行運営において協議を行なった回数(各施設毎)	回	目標	4	4	4
					実績	4	4	4
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		

方向	改善課題	建物の老朽化進行による修繕箇所増加や、人件費及びエネルギーコストの高騰等の影響により、施設の維持管理費が上昇している。
	改善案	修繕の優先度合いを精査し、限られた予算内で効率的・効果的に行い、施設の適正な維持管理に努める。

<b>基本情報</b>		<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>	
	<b>施策</b>	3-1	観光	R5 年度～ R6 年度	01-07-01-03-02-04	
	<b>基本事業</b>	②	観光客の受け入れ	<b>担当 部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>		観光施設利活用事業		産業振興部観光戦略課	課長 山田 靖子 0595-22-9670

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	観光客			
	<b>目的</b>	観光施設の計画的な修繕と適正な維持管理を行う。			
	<b>根拠法令等</b>				
	<b>内容</b>	だんじり会館の文化財展示物(だんじり見送り幕等)を適正な環境下で保管・管理するため、老朽化している空調機器の修繕を行った。			
<b>事業に要した 主な経費 など</b>		<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
		需用費	5,412,000円	だんじり会館空調機器維持整備修繕工事費 5,412,000円	
		計	5,412,000円		

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	国県支出金	0	0	0	2,393	【繰入金】 伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金 5,412,000円
		地方債	0	0	0	0	
		その他	0	0	5,412	0	
		一般財源	0	0	0	8,370	
		合計(A)	0	0	5,412	10,763	
<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.33 人	0.33 人	
		人件費	0	0	2,543	2,599	
	<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	
	<b>小計(B)</b>	0	0	2,543	2,599		
	<b>合計(A+B)</b>	0	0	7,955	13,362		
	<b>市民1人当たりのコスト(円)</b>	0	0	93	157		

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
		来訪者の満足度	DMOの来訪者アンケート(10段階評価の8~10と回答した人の割合)	%	目標	—	—	58.0	60.0
					実績	—	—	57.90	/
	指標化できない成果	—		達成	—	—	99.82%	/	

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	だんじり会館は設備の不具合の発生や建物の老朽化の影響で、今後大規模改修や設備の更新は不可避であり、多額の経費がかかる見込みである。
		<b>改善案</b>	各分野の専門家、公共的団体等の代表者、公募市民などで構成する審議会を設置し、だんじり会館の管理の方向性、あり方や位置づけを検討する。

<b>基本情報</b>		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	3-5	商工業・産業立地	R5 年度～ R5 年度	01-07-01-04-01-01	
	基本事業	①	商工業の活性化	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	商工振興経費	産業振興部商工労働課		課長 古川 英一 0595-22-9669	

<b>事務事業の概要</b>	対象	事業者及び市民			
	目的	エネルギー価格高騰の影響を受けた事業者等に対し、事業継続のための支援を行う。			
	根拠法令等				
	内容	<p><b>【LPガス料金負担軽減支援事業補助金】</b>  LPガス料金の上昇の影響を受けている家庭や企業等に対してガス料金の値引きを実施した販売事業者を対象に補助を行う一般社団法人三重県LPガス協会に対し補助金を交付しました。  <b>【対象者】</b>一般社団法人三重県LPガス協会／<b>【補助対象経費】</b>LPガス販売事業者が値引きした額(上限400円×6月分)／<b>【支援対象戸数】</b>131,820戸／<b>【補助金額】</b>54,728,000円(うち事務手数料分2,000,000円)</p> <p><b>【中小企業エネルギー価格高騰対策事業継続支援金】</b>  エネルギー価格高騰の影響を受けた市内の中小企業者に対し、事業継続に対する支援金を交付しました。  事業推進のため会計年度任用職員を3名雇用しました。  <b>【対象者】</b>令和4年7月から令和5年6月までにエネルギー経費(ガソリン、経由、重油、灯油、電気、ガス)の支出があり、かつ事業継続の意思がある市内の中小企業者／<b>【支援金上限額】</b>10万円(千円未満切り捨て)／<b>【交付件数】</b>1,563件／<b>【支援金総額】</b>125,308,000円</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	需用費	250,961円	消耗品費 印刷製本費		
	役務費	940円	通信運搬費		
	工事請負費	107,800円	申請窓口用電話回線設置工事 107,800円		
	負担金、補助及び交付金	180,036,000円	LPガス料金負担軽減支援事業補助金 54,728,000円 中小企業エネルギー価格高騰対策事業継続支援金 125,308,000円		
	計	180,395,701円			

<b>全体コスト(千円)</b>	直接 事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 【令和5年度国庫支出金】 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金:180,386千円	
		国庫支出金	0	0	180,396	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
	合計(A)	0	0	180,396	0			
	事業費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.40 人		0.00 人
			人件費	0	0	3,082		0
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	3.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	5,037	0			
小計(B)	0	0	8,119	0				
合計(A+B)	0	0	188,515	0				
市民1人当たりのコスト(円)	0	0	2,182	0				

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	支援金交付件数	エネルギー価格高騰対策事業継続支援事業の交付件数	件	目標	—	—	3800	—
				実績	—	—	1563	—
指標化できない成果	—	—	達成	—	—	41.1%	—	

<b>方向</b>	廃止	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)07商工費(項)01商工費(目)04エネルギー価格・物価高騰対策費(大事業)03物価高騰対策事業	決算書頁
353 -		271

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	R5 年度～	R6 年度	01-07-01-04-03-01
	基本事業	① 商工業の活性化	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	商工振興経費	担当部署	産業振興部商工労働課	課長 古川 英一 0595-22-9669

事務事業の概要	対象	事業者及び市民			
	目的	物価高騰の影響を受けている市民や中小小売業者への支援及び消費喚起による地域経済の活性化を目的とする。			
	根拠法令等				
	内容	物価高騰の影響を緩和するとともに、地域における消費拡大や経済活性化を目的として、商工団体等が実施するプレミアム商品券発行事業に対して補助金を交付しました。令和5年度は、令和6年5月からの商品券引き換えに向け、商品券の発行準備、購入者及び取扱事業者の公募を実施しました。 ※令和5年度繰越事業			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	負担金、補助及び交付金	2,499,993円	プレミアム付商品券事業補助金 2,499,993円		
	計	2,499,993円			

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国県支出金	255,952	0	0	0	133,759	その他(令和6年度事業費の特定財源) ・ふるさと応援基金繰入金:12,199千円 ・伊賀市新型コロナウイルス感染症対策基金繰入金:33,611千円 ・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金:133,759千円 ※令和5年度繰越事業		
		地方債	0	0	0	0	0			
		その他	0	0	0	0	45,810			
		一般財源	0	0	2,500	0	0			
		合計(A)	255,952	0	2,500	0	179,569			
	人件費	正規職員	業務量	0.40 人	0.00 人	0.20 人	0.20 人			
			人件費	3,095	0	1,541	1,575			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
人件費	162	0	0	0						
小計(B)	3,257	0	1,541	1,575						
合計(A+B)	259,209	0	4,041	181,144						
市民1人当たりのコスト(円)	2,954	0	47	2,123						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	プレミアム付商品券販売額	プレミアム付商品券の発行枚数に対する販売額	千円	目標	—	250,000	—	260,000
				実績	—	247,725	—	
指標化できない成果	—	—	達成	—	99.1%	—		

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)01土木管理費(目)01土木総務費(大事業)02事務管理経費	決算書頁
354 -		271

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-01-01-02-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般事務経費	担当部署 建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	土木施設の管理全般及び期成同盟会活動		
	根拠法令等			
	内容	<p>市道等の土木施設管理や加盟している期成同盟会活動を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路河川や砂防関係等の許認可業務(1,126件)、道路等の境界査定や用途廃止手続業務(152件)、太陽光発電設備設置に関する指導業務(28件)を実施。</li> <li>・一筆測量業務委託(道路敷地登記処理等)=1件</li> <li>・草刈業務委託(土木施設用地)=1件</li> <li>・伊賀市道路台帳等修正業務委託=1式</li> <li>・国(国土交通省等)や関係機関への要望活動を実施。</li> <li>・三重県社会基盤整備協会への負担金及び、加盟している期成同盟会(3件)へ負担金を支出。</li> </ul>		
事業に要した 主な経費 など		経費	金額	摘要
		旅費	304,444円	
		需用費	628,364円	消耗品費、修繕料
		役務費	1,796,230円	賠償責任保険料 1,763,580円 通信運搬費、手数料 32,650円
		委託料	12,879,592円	草刈業務委託料、一筆測量業務委託料 647,592円 電算関係(道路台帳更新等)委託料 12,232,000円
		使用料及び賃借料	1,680,528円	システム等使用料 1,615,278円 有料道路通行料等 65,250円
		負担金・補助金及び交付金	1,785,000円	期成同盟会等負担金(4件)
		計	19,074,158円	

	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件	金額	人件	金額	人件	金額	人件	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	道路幅員等証明手数料 1,200円 複写料 12,680円
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	42	423		13		423		
		一般財源	18,495	20,859		19,062		22,436		
		合計(A)	18,537	21,282		19,075		22,859		
事業費	正規職員	業務量	4.27 人	3.48 人		3.65 人		3.60 人		
		人件費	33,037	26,814		28,124		28,347		
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.79 人		0.79 人		0.85 人		
		人件費	0	2,783		2,783		3,073		
	会計年度任用職員	業務量	1.80 人	1.80 人		2.00 人		2.00 人		
		人件費	2,911	3,023		3,358		3,552		
小計(B)		35,948	32,620		34,265		34,972			
合計(A+B)		54,485	53,902		53,340		57,831			
市民1人当たりのコスト(円)			621	624		618		678		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	通常の土木施設の管理業務及び、期成同盟会活動(他市町村との組織)であるため。	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題
		改善案

整理番号 355 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)01土木管理費(目)01土木総務費(大事業)04名神名阪連絡道路整備促進事業経費	決算書頁 273
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	R5 年度～	R6 年度	01-08-01-01-04-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	名神名阪連絡道路整備促進事業経費	担当部署	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	名神名阪連絡道路の早期実現に向けての事業促進		
	根拠法令等			
	内容	名阪国道と名神高速道路を結ぶ道路整備の早期実現に向けた啓発活動であり、当該道路の整備は、伊賀市の発展に寄与する大切な道路整備計画です。 広報活動を展開するために、立看板(1基)とクリアーファイル(500枚)を作成し、活動を行った。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	旅費 需用費 委託料 使用料及び賃借料	137,640円 96,800円 550,000円 6,400円	旅費 消耗品費 看板等作成及び設置業務委託料 駐車場借上料	
	計	790,840円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	1,863	791	1,100	0	0	0	0	
	合計(A)	0	1,863	791	1,100	0	0	0	0	
事業費 人件費	正規職員	業務量 0.00 人	0.52 人	0.52 人	0.52 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	4,007	4,007	4,095	0	0	0	0	
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計(B)	0	4,007	4,007	4,095	0	0	0	0		
合計(A+B)	0	5,870	4,798	5,195	0	0	0	0		
市民1人当たりのコスト(円)	0	68	56	61						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	国が実施する事業に伴う啓発・促進経費のため。	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)02道路維持費(大事業)01道路維持経費	決算書頁
356 -		273

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H16 年度～	R6 年度	01-08-02-02-01-01
	基本事業	① 道路	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	道路維持経費	担当部署	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	市が所管する道路			
	目的	道路舗装の異常または損傷を早期に発見するとともに、計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する			
	根拠法令等				
	内容	<p>道路を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。また、路肩の除草、冬期には融雪剤散布等により道路機能を維持します。</p> <p>管理延長 L=約2,300km</p> <p>令和5年度は、299箇所の道路修繕等を行いました。また、市道の草刈業務委託65件及び雪水対策業務委託39工区の委託を実施しました。</p>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	需用費	68,446,994円	消耗品費、燃料費94地区、光熱水費	10,307,401円	
	役務費、使用料及び賃借料	1,600,736円	修繕料(道路小修繕等299件)	58,139,593円	
	委託料	112,827,976円	手数料、自動車借上料等		
			道路維持管理業務委託94件	17,568,338円	
			草刈業務委託65件	62,798,900円	
			街路樹管理業務委託15件	23,511,917円	
			融雪剤散布等業務委託76件等	8,948,821円	
	工事請負費	3,650,900円	側溝改修工事3件		
	原材料費	25,880,253円	融雪剤2,648袋、生コン286㎡、切込碎石670㎡等		
	備品購入費	4,305,400円	凍結防止剤散布機2台		
	計	216,712,259円			

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	1,300		環境保全基金繰入金
		地方債	0	0	0	0		環境保全負担金
		その他	8,645	45,323	15,723	60,508		みえ森と緑の県民税市町交付金
		一般財源	229,792	176,355	200,989	208,069		
	合計(A)	238,437	221,678	216,712	269,877			
	事業費	正規職員	業務量	3.75 人	3.05 人	3.05 人	3.05 人	
			人件費	29,014	23,501	23,501	24,016	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	2.60 人	2.60 人	
		人件費	0	0	4,366	4,618		
	小計(B)		29,014	23,501	27,867	28,634		
	合計(A+B)		267,451	245,179	244,579	298,511		
市民1人当たりのコスト(円)		3,048	2,838	2,831	3,498			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—
				実績	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	—	—	—

方向	継続	課題	
		改善案	

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H16 年度～ R6 年度	01-08-02-03-01-01
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	臨時地方道整備事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	市が所管する道路		
	目的	生活道路を人や車が安全に移動することが出来るよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	道路を通行者が安全に安心して通行できるよう、道路改良や舗装修繕等の工事を実施します。 令和5年度は、舗装修繕工事9件、足元灯修繕工事5件、道路照明灯修繕工事1件、側溝修繕工事2件、排水施設整備工事2件、路肩復旧工事1件、側溝修繕工事1件の計21件の工事を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	225,829円	消耗品費、燃料費	
	委託料	709,280円	用地測量登記業務委託 709,280円	
	工事請負費	138,156,700円	市道愛宕町緑ヶ丘南町線舗装修繕工事 26,040,300円 市道四十九町ゆめが丘線舗装修繕工事 19,682,300円 市道玄蕃町茅町線舗装修繕工事 15,299,900円 市道真泥出後線舗装修繕工事 14,022,800円 市道上野処理場線舗装修繕工事 11,974,600円 市道水越野線舗装修繕工事 11,443,300円 その他工事15件 39,693,500円	
	原材料費			
	計	139,091,809円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金	0	0	0	0	
		地方債	239,700	162,600	124,500	171,800	
		その他	11,722	11,459	11,443	21,937	
		一般財源	17,164	2,062	3,149	5,836	
	合計(A)	268,586	176,121	139,092	199,573		
	事業費	正規職員	業務量	1.55 人	1.25 人	1.25 人	1.25 人
			人件費	11,993	9,632	9,632	9,843
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
人件費	0		0	0	0		
小計(B)	11,993	9,632	9,632	9,843			
合計(A+B)	280,579	185,753	148,724	209,416			
市民1人当たりのコスト(円)	3,198	2,150	1,721	2,454			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	計画修繕箇所数	実施箇所数/全箇所	%	目標	9.8	42.6	55.7	78.7
				実績	9.8	42.6	55.7	
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号 358 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁 275
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-04
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	西明寺緑ヶ丘線道路改良事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	西明寺緑ヶ丘線		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	<p>市街地から国道163号を経て名阪国道へ接続する重要なアクセス道路であり、上野東部地域の南北を連絡する幹線道路として機能の整備を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=1,100m、幅員W=12.0m</p> <p>令和5年度は、舗装工事L=100m、防護柵設置工事 L=100m、1権利者の物件移転(主に家屋)、用地取得を実施しました。令和5年10月には、対象整備区間の供用を開始しました。</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	1,186,538円	消耗品費、燃料費、修繕料1件	
	役務費	3,452円	通信運搬費	
	委託料	198,000円	交通量調査業務委託 198,000円	
	工事請負費	36,858,360円	舗装工事 30,012,400円 防護柵設置工事 5,538,500円 その他工事7件 1,307,460円	
	公有財産購入費	5,187,000円	道路改良事業用地取得1件 5,187,000円	
	補償、補填及び賠償金	15,750,364円	物件移転補償1件 15,722,764円 支障物移転補償1件 27,600円	
	原材料費	217,800円	資材費	
	計	59,401,514円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人		
事業費	直接 事業費	国県支出金	54,701		29,825		28,897		5,927	社会資本整備総合交付金50% 公共事業等債	
		地方債	51,800		28,500		26,400		5,800		
		その他	0		0		0		0		
		一般財源	12,697		3,075		4,105		471		
		合計(A)	119,198		61,400		59,402		12,198		
	人件費	正規職員	業務量	0.75 人		0.75 人		0.75 人			0.75 人
			人件費	5,803		5,779		5,779			5,906
		再任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
			人件費	0		0		0			0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人		0.00 人		0.00 人			0.00 人
	人件費	0		0		0		0			
	小計(B)	5,803		5,779		5,779		5,906			
	合計(A+B)	125,001		67,179		65,181		18,104			
	市民1人当たりのコスト(円)	1,425		778		755		213			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	90	99	99.9	100
				実績	90	99	99.9	
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		

方向	改善	課題	重要な幹線道路であるうえに、緊急輸送道路にしており早期完成が望まれています。
		改善案	地域や各関係機関と協議を円滑に行い、令和6年度の早期事業完了を目指します。

整理番号 359 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁 275
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-05
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	依那古友生線他1線道路改良事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	依那古友生線他1線道路		
	目的	通行がスムーズになり、地域住民の生活道路及び物流の輸送道路として利用しやすくなるよう整備する		
	根拠法令等			
	内容	<p>依那古農免道路からゆめが丘住宅地南西端へ通じる幅員3mの見通しの悪い狭小な道路であるため危険であり、車両の対向に苦慮しています。スムーズな通行が出来るよう整備を行い、安全・安心に通行出来るよう整備します。</p> <p>事業概要 延長L=890m、幅員W=7.0m</p> <p>令和5年度は、道路改良工事L=140m、舗装工事L=140m、防護柵設置工事L=140m、工事に伴う電柱等の移転保障N=2件を実施しました。 令和6年3月には整備区間の供用を開始しました。</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	230,850円	消耗品費、燃料費	
	役務費	6,048円	通信運搬費	
	工事請負費	107,856,200円	道路改良工事 83,854,100円 道路舗装工事 22,122,100円 防護柵設置工事 1,880,000円	
	補償、補填及び賠償金	1,510,942円	道路改良事業補償2件 1,510,942円	
	計	109,604,040円		

	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接 事業費	国県支出金	15,485		66,000		60,152		23,906	社会資本整備総合交付金55% 公共事業等債
		地方債	14,600		52,500		47,300		21,300	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	1,702		3,253		2,152		421	
		合計(A)	31,787		121,753		109,604		45,627	
事業費	人件費	正規職員	業務量	0.65 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人	0.65 人	
		人件費	5,030		5,009		5,009		5,119	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0		0		0		0	
	小計(B)	5,030		5,009		5,009		5,119		
	合計(A+B)	36,817		126,762		114,613		50,746		
	市民1人当たりのコスト(円)	420		1,467		1,327		595		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	66	75	99	100
				実績	66	75	99	
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		

方向	改善	課題	重要な幹線道路であるうえに、緊急輸送道路にしており早期完成が望まれています。
	改善案		地域や各関係機関と協議を円滑に行い、令和6年度の早期事業完了を目指します。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁
360 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-07
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	舗装修繕事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	二車線道路及び緊急輸送道路		
	目的	市が管理する道路舗装の実態を把握し、異常または損傷を早期に発見するとともに計画的かつ効率的な舗装修繕を実施し道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する		
	根拠法令等			
	内容	市が管理する道路で、交通量の多い生活道路や大型交通量が多く、舗装の劣化が早い幹線道路について、計画的に舗装修繕を行います。 事業概要 延長L=9,000m(R3年度～R8年度) 令和5年度は、舗装修繕工事2路線(花之木新居線L=685m、四十九町ゆめが丘線L=725m)を実施しました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,033,185円	消耗品費、燃料費	
	役務費	32,202円	通信運搬費	
	委託料	9,412,700円	路面性状調査業務委託 8,674,600円 地質調査業務委託 738,100円	
	工事請負費	122,390,400円	舗装修繕工事4件	
	原材料費	15,180円	資材費	
	計	133,883,667円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	71,346		75,885		65,902		32,395		社会資本整備総合交付金50% 公共事業等債 補正予算債(防災減災国土強靱化緊急対策事業債)
	地方債	69,600		77,000		62,500		26,900		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	5,759		1,876		5,482		7,089		
	合計(A)	146,705		154,761		133,884		66,384		
事業費 人件費	正規職員	業務量	0.75 人	0.80 人	0.80 人	0.80 人				
		人件費	5,803	6,164	6,164	6,300				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.40 人	0.40 人				
		人件費	0	0	672	711				
小計(B)	5,803		6,164		6,836		7,011			
合計(A+B)	152,508		160,925		140,720		73,395			
市民1人当たりのコスト(円)		1,739		1,863		1,629		861		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	14	33	51	57
				実績	14	33	51	
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		

方向	改善	課題	管内の幹線道路については、舗装路面の劣化が著しく通行に支障をきたす箇所が数多く見られますが、全国的な傾向として、年度当初の国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難です。
	改善案		国の補正予算を活用し、予算の確保に努めます。また、緊急性が高く交通量の多い主要道路から修繕工事を実施し、安全に通行出来る様進捗を図る必要があります。

整理番号 361 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁 275
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R4 年度～	R6 年度	01-08-02-03-02-13
	基本事業	① 道路	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	通学路整備事業	担当 部署	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	通学路に指定されている市道			
	目的	通学路の危険箇所を改善し、通学児童の安全・安心な歩行空間を確保する			
	根拠法令等				
	内容	<p>通学児童の安全・安心な歩行空間を確保するために、通学路交通安全プログラムに基づき通学路の危険箇所を改善し、交通安全対策を行います。</p> <p>事業概要 市道愛宕町緑ヶ丘南町線歩道整備 L=170m 市道服部高畑寺田線歩道拡幅 L=30m 市道車坂寺田橋線歩道整備 L=130m 市道東條羽根線歩道整備 L=160m</p> <p>令和5年度は、市道愛宕町緑ヶ丘南町線歩道整備L=170m(歩道整備工事、防護柵設置工事、歩道舗装工事)を実施しました。</p>			
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	需用費	78,100円	消耗品費		
	委託料	292,600円	測量設計業務委託		
	工事請負費	29,991,850円	歩道整備工事 20,108,900円		
			防護柵設置工事 6,426,200円		
			歩道舗装工事 2,740,100円		
			その他工事3件 716,650円		
	計	30,362,550円			

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接 事業費	国県支出金	6,242		10,945		10,945		27,500		社会資本整備総合交付金55% 公共事業等債
	地方債	5,000		8,700		8,000		12,800		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	599		10,717		11,418		10,700		
	合計(A)	11,841		30,362		30,363		51,000		
事業費 人件費	正規職員	業務量	0.25 人	0.52 人		0.52 人		0.52 人		
		人件費	1,935	4,007		4,007		4,095		
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人		0.00 人		
		人件費	0	0		0		0		
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人		0.00 人		
	人件費	0	0		0		0			
	小計(B)	1,935	4,007		4,007		4,095			
	合計(A+B)	13,776	34,369		34,370		55,095			
	市民1人当たりのコスト(円)	157	398		398		646			

指標	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	事業の進捗率	通学路交通安全プログラムに記載の補助事業にて整備すべき箇所の整備率	%	目標	—	45	60	85
				実績	—	45	60	
指標化できない成果	—		達成	—	100%	100%		

方向	改善	課題	通学児童の重大事故が全国で相次いでおり、迅速な歩行空間の整備が喫緊の課題となっています。また、交通安全を守るためには、ハード整備だけではなく、ルール・マナー等のソフト対策についても周知が必要となります。
	改善案		通学路交通安全プログラムにおいて、重点整備箇所の選定や整備優先順位を設定します。また、教育委員会等、関係各課及び地域住民や学校等と連携し事故防止に向けた取り組みを行います。

整理番号 362 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)03道路新設改良費(大事業)02社会資本整備 総合交付金事業	決算書頁 275
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R5 年度～ R6 年度	01-08-02-03-02-14
	基本事業	① 道路	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	山神大谷地内道路整備事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	山神大谷線		
	目的	拠点間を結ぶバイパス整備の推進により、円滑で安全な走行が可能な道路ネットワークの構築・機能強化を図る		
	根拠法令等			
	内容	<p>国道422号三田坂バイパスと国道25号を接続するバイパス整備と併せて、避難路としても有効利用されることから防災・減災、国土強靱化の推進を図ります。</p> <p>事業概要 延長L=800m、幅員W=8.5m</p> <p>令和5年度は、国道422号との接続箇所の詳細設計N=1件、それらにかかる測量設計、調査N=5件を実施しました。</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	101,546円	消耗品費、燃料費	
	委託料	6,600,770円	交差点詳細設計委託 3,267,000円 測量業務委託 2,398,000円 その他調査業務委託4件 935,770円	
	計	6,702,316円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	0	0	5,000	0	3,300	0	15,000	0	社会資本整備総合交付金50% 公共事業等債
	地方債	0	0	4,700	0	3,000	0	14,200	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	0	500	0	402	0	1,400	0	
	合計(A)	0	0	10,200	0	6,702	0	30,600	0	
事業費 人件費	正規職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.22 人	0.22 人	0.22 人	0.22 人	0.22 人	
		人件費	0	0	1,696	0	1,733	0	1,733	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計(B)	0	0	0	0	1,696	0	1,733	0	
	合計(A+B)	0	0	10,200	0	8,398	0	32,333	0	
	市民1人当たりのコスト(円)	0	0	119	0	98	0	379	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	道路整備による事業進捗(執行事業費/総事業費)	%	目標	—	—	2	5
				実績	—	—	2	
指標化できない成果	—	—	達成	—	—	100%		

方向	改善	課題	当該道路整備は、地域経済の発展や防災能力向上に寄与することから地域から早期完成が望まれています。全国的な傾向として、道路新設・改築事業には国の交付金充当率が十分に見込めず、計画通りの進捗が困難な状況です。
	改善案	改善案	県内他市町村との交付金流用や、国の補正予算を効率的に活用し、予算の確保や現事業より進捗が図れ乗り換えが可能な他事業について国の動向を注視し、早期整備に努めます。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)02橋梁維持補修事業	決算書頁
363 -		275

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-02-04-02-01
	基本事業	基本事業なし	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	橋梁維持補修事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	市が所管する橋梁		
	目的	橋梁の経年劣化に伴う小規模な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する		
	根拠法令等			
	内容	橋梁を常時良好な状態に保つよう、橋梁本体及び付属構造物の比較的小規模な損傷箇所について、修繕工事を行います。 令和5年度は、橋梁修繕2件を実施しました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	485,000円	修繕料 2件	
	工事請負費	6,497,200円	橋梁補修工事	
	計	6,982,200円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	緊急自然災害防止対策事業債
		地方債	3,700		6,300		6,300		0	
		その他	0		0		0		0	
		一般財源	254		716		682		485	
		合計(A)	3,954		7,016		6,982		485	
	人件費	正規職員	業務量	0.20 人	0.19 人	0.19 人	0.19 人	0.19 人	0.19 人	
			人件費	1,548	1,464	1,464	1,497	1,497		
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
			人件費	0	0	0	0	0		
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0	0				
	小計(B)	1,548	1,464	1,464	1,464	1,497				
	合計(A+B)	5,502	8,480	8,446	8,446	1,982				
	市民1人当たりのコスト(円)	63	99	98	98	24				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題
		改善案

整理番号 364 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス事業	決算書頁 277
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H26 年度～ R6 年度	01-08-02-04-04-01
	基本事業	② 橋梁	担当 部署	部・課名等 評価責任者・連絡先
	事務事業名	橋梁長寿命化修繕事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市が所管する市道に架かる全橋梁		
	目的	今後老朽化する道路橋の急速な増大に対応するため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、道路ネットワークの安全性・信頼性の確保に努める		
	根拠法令等			
	内容	市が管理する橋梁は約1,500橋あり、多くは市の幹線道路及び生活道路に架かる重要な橋梁であるため、橋梁長寿命化修繕計画に基づき、緊急を要し損傷、劣化等が見受けられる箇所を修繕し、コスト縮減を目標に安全・安心な道路空間の整備を図ります。  令和5年度は、橋梁点検業務、橋梁補修詳細設計、橋梁修繕工事N=20橋を実施しました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費・役務費	1,378,506円	消耗品費、燃料費、通信運搬費	
	委託料	58,083,300円	橋梁修繕設計業務委託3件 29,906,800円 計画策定費業務委託 21,967,000円 橋梁点検業務委託 6,151,200円 システム保守業務委託 58,300円	
	工事請負費	64,168,800円	佐那具橋(佐那具波敷野線)橋梁修繕工事 34,310,100円 広畑橋(沖比自岐線)外3橋橋梁修繕工事 6,765,000円 相田3号橋(相田線)外1橋橋梁修繕工事 6,255,900円 中山橋(岩倉湯蓋口線)外4橋橋梁修繕工事 6,031,300円 その他橋梁修繕工事10件 10,806,500円	
	計	123,630,606円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	87,002		102,407		67,207		123,954		道路メンテナンス事業補助金55% 公共事業等債 補正予算債(防災・減災国土強靱化緊急対策 事業債)
	地方債	45,100		61,300		37,800		79,100		
	その他	0		12,600		0		0		
	一般財源	27,531		12,932		18,624		24,224		
	合計(A)	159,633		189,239		123,631		227,278		
事業費	正規職員	業務量	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人		
		人件費	5,803	5,779	5,779	5,906				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	5,803	5,779	5,779	5,906						
合計(A+B)	165,436	195,018	129,410	233,184						
市民1人当たりのコスト(円)		1,886	2,257	1,498	2,733					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	橋梁修繕による作業進捗(補修完了橋梁数/補修が必要な橋梁総数)	%	目標	58	69	73	—
				実績	58	69	75	
指標化できない成果	—	達成	100%	100%	102%			

方向	改善	課題	橋梁点検を行うごとに修繕が必要な橋梁が増加し、対策に必要な財源確保に苦慮しています。大規模な修繕とならないように、予防保全に努めたいが、早期に措置を講じるべき橋梁(Ⅲ判定)が多数存在し、予防保全への転換がうまく進んでいない。
	改善案		国の補正予算などを効率的に活用し、予算の確保に努め、Ⅲ判定橋梁の修繕数の前倒しを行います。

整理番号 365 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)04橋りょう維持費(大事業)04道路メンテナンス 事業	決算書頁 277
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R2 年度～ R6 年度	01-08-02-04-04-02
	基本事業	② 橋梁	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	印代山神線(山神橋)橋梁架替事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9725

事務事業の概要	対象	市道印代山神線(山神橋)		
	目的	山神橋の橋脚基礎部が洗掘により沈下し通行止めとなっており、修繕は不可能なため、架け替えを行う		
	根拠法令等			
	内容	<p>市道印代山神線の山神橋は、昭和29年に架橋され、架橋後60年以上が経過し、橋脚の基礎部が洗掘により著しく沈下したため、平成29年12月から通行止めを実施しています。老朽橋であり、修繕による機能回復は困難であるため、架け替えを行います。</p> <p>事業概要 延長L=158.8m、幅員W=10.5m</p> <p>令和5年度は、橋梁詳細設計 N=1件、橋梁下部工事(橋脚1基)N=1件、測量N=1件、土質調査N=1件を実施しました。 ※橋梁下部工事は、令和6年度へ繰越</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,957,338円	消耗品費、燃料費	
	委託料	39,061,300円	橋梁詳細設計業務委託 38,734,600円 橋梁詳細設計に伴う測量業務委託 237,600円 土質調査業務委託 89,100円	
	工事請負費	31,760,000円	市道印代山神線山神橋(P1)橋梁下部工事 31,760,000円	
	計	73,778,638円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件	金額	人件	金額	人件	金額	人件	
直接 事業費	国県支出金	41,198		84,849		38,897		127,124		道路メンテナンス事業補助金55% 公共事業等債
	地方債	30,800		67,900		30,200		100,600		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	11,968		12,382		4,682		5,523		
	合計(A)	83,966		165,131		73,779		233,247		
事業費 人件費	正規職員	業務量	0.84 人	0.80 人		0.80 人		0.80 人		
		人件費	6,500	6,164		6,164		6,300		
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人		0.00 人		
		人件費	0	0		0		0		
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人		0.00 人		0.00 人		
	人件費	0	0		0		0			
	小計(B)	6,500		6,164		6,164		6,300		
	合計(A+B)	90,466		171,295		79,943		239,547		
	市民1人当たりのコスト(円)	1,031		1,983		926		2,807		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業の進捗率	橋梁架け替えによる事業進捗率 (執行事業費/総事業費)	%	目標	11	18	29	35
				実績	11	18	26	
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	89%		

方向	改善	課題	橋梁の架け替えには、膨大な時間と費用を必要とし、必要な費用の確保に苦慮しています。山神橋北詰からR422号へのバイパス道路について、同時に検討する必要があります。
		改善案	河川内工事となり様々な制約があるなか、効率的な工事が可能となるよう発注工事単位の見直しを行います。

整理番号 366 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)02道路橋りょう費(目)05交通安全施設整備事業費(大事業)01交通安全施設維持修繕経費	決算書頁 277
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	H16 年度～ R6 年度	01-08-02-05-01-01
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	交通安全施設維持修繕経費	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	交通安全施設		
	目的	市民を交通事故から守り、また、安全かつ円滑な交通の確保に資することを目的とした各種交通安全施設の維持管理を行う		
	根拠法令等			
	内容	カーブミラー、ガードレール、区画線等の交通安全施設の新設及び修繕を行います。 令和5年度は、交通安全施設(カーブミラー・ガードレール・区画線等)の設置工事及び修繕工事を86件実施しました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	需用費	79,860円	消耗品費	
		10,249,690円	修繕料(防護柵10件、道路反射鏡30件、道路照明2件、区画線等25件)	
	工事請負費	3,773,310円	道路反射鏡2件、区画線等17件	
	原材料費	69,000円	資材(カーブミラー2枚等)	
	計	14,171,860円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	13,624	13,097	14,172	15,259					
	合計(A)	13,624	13,097	14,172	15,259					
事業費 人件費	正規職員	業務量	1.05 人	0.85 人	0.85 人	0.85 人				
		人件費	8,124	6,550	6,550	6,693				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)		8,124	6,550	6,550	6,693					
合計(A+B)		21,748	19,647	20,722	21,952					
市民1人当たりのコスト(円)		248	228	240	258					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号
367 -

決算書頁
277

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)01河川総務費(大事業)02事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～	R6 年度	01-08-03-01-02-01
	基本事業	基本事業なし	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般事務経費	担当部署	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市民		
	目的	安心・安全で、快適な住環境整備の構築を図る		
	根拠法令等			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国(国土交通省等)への要望活動を実施しました。</li> <li>・加盟している期成同盟会等(4件)へ負担金を支出しました。</li> </ul>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費 需用費 委託料 使用料及び賃借料 負担金、補助及び交付金  計	274,086円 36,971円 12,650円 19,770円 273,000円  616,477円	消耗品費 水の日のお城ライトアップ業務委託料 有料道路通行料、駐車場借上料 期成同盟会等負担金(4件) 木津川上流直轄改修促進期成同盟会 151,000円 木津川上流砂防事業促進協議会 24,000円 全国治水期成同盟会連合会 15,000円 近畿直轄ダム事業等促進協議会 83,000円	

	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
全体コスト(千円)	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	761	812	617	4,852				
		合計(A)	761	812	617	4,852				
事業費	人件費	正規職員	業務量 0.78 人	0.75 人	0.75 人	0.83 人				
		人件費	6,035	5,779	5,779	6,536				
		再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	小計(B)	6,035	5,779	5,779	6,536					
	合計(A+B)	6,796	6,591	6,396	11,388					
	市民1人当たりのコスト(円)	78	77	75	134					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	他市町村と構成されている組織運営であるため、指標を定めることはできない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号 368 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)01事務管理経費	決算書頁 279
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-1 危機管理	H16 年度～	R6 年度	01-08-03-02-01-01
	基本事業	③ 河川維持・改修	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	事務管理経費	担当部署	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	内水による浸水被害箇所		
	目的	内水が起因する浸水被害の軽減		
	根拠法令等			
	内容	<p>内水による浸水被害を軽減するために排水機や樋門、また、排水ポンプや排水ポンプ車を操作、点検します。</p> <p>大戸川小田排水機場外5件点検操作業務委託(点検:各施設月1回)、排水ポンプ車操作(木津川上流河川事務所との合同訓練外1回)及び点検業務を行いました。また、排水ポンプ用発動発電機付属機器類等の修繕を実施しました。令和5年度においては、6月の豪雨や8月の台風による大雨時に排水機場や排水ポンプ車両の操作を行い、対策地域内の浸水被害を防ぎました。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費	2,203,902円	燃料費、光熱水費、修繕料	
	委託料	2,727,453円	排水機・樋門等点検操作委託料	1,809,500円
			排水ポンプ車操作・点検業務委託料	917,953円
	計	4,931,355円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	3,644	6,554	4,932	6,719	4,932	6,719	6,719		
		合計(A)	3,644	6,554	4,932	6,719	4,932	6,719	6,719		
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	0.88 人	0.73 人	0.80 人	0.73 人	0.80 人		0.80 人
			人件費	7,737	6,781	5,625	6,300	5,625	6,300		6,300
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.12 人	0.05 人	0.05 人	0.05 人	0.05 人		0.05 人
			人件費	0	423	177	181	177	181		181
		会計年度任用職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	162	168	0	0	0	0	0			
	小計(B)	7,899	7,372	5,802	6,481	5,802	6,481	6,481			
	合計(A+B)	11,543	13,926	10,734	13,200	10,734	13,200	13,200			
	市民1人当たりのコスト(円)	132	162	125	155	125	155	155			

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	浸水被害対策のための施設の運転及び日常の維持管理経費のため。	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	<b>施策</b>	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-02-02-01	
	<b>基本事業</b>	基本事業なし	<b>担当部署</b>	<b>部・課名等</b>	<b>評価責任者・連絡先</b>
	<b>事務事業名</b>	高山ダム湖河川公園維持管理経費		建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	高山ダム湖河川公園		
	<b>目的</b>	高山ダム湖河川公園の維持・運営管理		
	<b>根拠法令等</b>			
	<b>内容</b>	<p>高山ダム湖河川公園施設の日常の維持・運営管理を行う。</p> <p>公園施設内のテニス場、ゲートボール場、グランドゴルフ場の運営管理、また、公園施設内全般の清掃・草刈等の維持管理を一括して、治田区と業務委託契約を締結し、日常の維持・運営管理を行った。</p>		
<b>事業に要した主な経費など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	需用費	840,368円	光熱水費、修繕料	
	委託料	1,100,000円	高山ダム湖河川公園維持管理業務委託料	
	<b>計</b>	1,940,368円		

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	国県支出金	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	1,285	2,187	1,941	1,398		
		合計(A)	1,285	2,187	1,941	1,398		
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	0.15 人	0.12 人	0.14 人		0.05 人
			人件費	1,161	925	1,079		394
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.03 人	0.08 人		0.05 人
			人件費	0	106	282		181
		<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	<b>小計(B)</b>	1,161	1,031	1,361	575			
	<b>合計(A+B)</b>	2,446	3,218	3,302	1,973			
	市民1人当たりのコスト(円)	28	38	39	24			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため指標化はできない	達成	—	—	—	—	

<b>方向</b>	<b>継続</b>	<b>課題</b>	
		<b>改善案</b>	

整理番号 370 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)02直轄管理河川改修対策事業費(大事業)03直轄管理河川改修事業	決算書頁 279
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-1 危機管理	R2 年度～	R6 年度	01-08-03-02-03-01
	基本事業	③ 河川維持・改修	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	直轄管理河川改修事業	担当部署	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	大戸川小田排水機場		
	目的	内水排水対策施設である大戸川小田排水機場の改修		
	根拠法令等			
	内容	<p>改修工事に向け、令和2年度において基本構想を策定し、令和3年度においては大戸川小田排水機場の改修事業の実施設計を行い、令和4年度より令和6年度末までの工事期間で、現在、工事実施中である。</p> <p>工事監督業務の中で、工事費の変更増額となる工事内容の要因が発生した場合は、工事請負業者と協議を重ね、他の手法で回避するなど、工事費の増額の軽減に努める必要がある。</p> <p>また、令和6年度においては、三田地区の内水排水対策について、近年の異常な豪雨に対し、既存の対策施設の機能強化を施さなければならないか否か検討し、機能強化を施す結果に至った場合は、関係施設の改善事業を検討する必要がある。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	使用料及び賃借料	59,400円	土地建物借上料	
	工事請負費	42,410,000円	ポンプ場設備更新工事費	
	計	42,469,400円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	【特定財源】 緊急自然災害防止対策事業債
	地方債	148,300		124,900		42,400		283,600		
	その他	0		0		0		0		
	一般財源	71		40		70		8,929		
	合計(A)	148,371		124,940		42,470		292,529		
事業費	正規職員	業務量	0.93 人	0.90 人	0.90 人	0.94 人				
		人件費	7,196	6,935	6,935	7,402				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.03 人	0.08 人	0.00 人				
		人件費	0	106	282	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
小計(B)	7,196	7,041	7,217	7,402						
合計(A+B)	155,567	131,981	49,687	299,931						
市民1人当たりのコスト(円)		1,773	1,528	575	3,515					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業進捗率	大戸川小田排水機場改修事業に係る進捗率	%	目標	6.0	33.1	43.1	100
				実績	6.0	33.1	43.1	
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		

方向	継続	課題
		改善案

<b>基本情報</b>		コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	2-1	危機管理	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-03-01-02	
	基本事業	③	河川維持・改修	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	矢田川分流堰操作業務経費			建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

<b>事務事業の概要</b>	対象	矢田川分流堰			
	目的	河川氾濫による浸水被害の軽減			
	根拠法令等				
	内容	<p>一級河川矢田川の河川氾濫による浸水被害を軽減を行うべく、矢田川分流堰の操作並びに点検を行う。</p> <p>一級河川矢田川分流堰の操作・点検業務(豪雨時の河川水位上昇による操作、点検業務各月1回)を行った。</p>			
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要		
	需用費	170,058円	消耗品費、光熱水費		
	委託料	179,000円	矢田川分流堰維持管理業務委託料		
	計	349,058円			

		項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
<b>全体コスト(千円)</b>	直接 事業費	国県支出金	336	339	350	352	【特定財源(県支出金)】 矢田川分流堰維持管理及び操作業務委託金	
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	0	0	0	0		
		合計(A)	336	339	350	352		
	事業費	正規職員	業務量	0.16 人	0.13 人	0.07 人		0.05 人
			人件費	1,238	1,002	540		394
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.03 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	106	0		0
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
	人件費	0	0	0	0			
	小計(B)	1,238	1,108	540	394			
	合計(A+B)	1,574	1,447	890	746			
	市民1人当たりのコスト(円)	18	17	11	9			

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	—	—	—	—	目標	—	—	—	—
					実績	—	—	—	—
指標化できない成果	浸水被害対策のための施設の運転及び日常の維持管理経費の為。		達成	—	—	—	—		

<b>方向</b>	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)01準用河川管理経費	決算書頁
372 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	2-1 危機管理	H16 年度～	R6 年度	01-08-03-03-01-03
	基本事業	③ 河川維持・改修	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	青山工業団地調整池管理業務経費	担当部署	建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	青山工業団地調整池		
	目的	調整池を保全し、機能を十分に発揮させる。		
	根拠法令等			
	内容	調整池周辺の草刈り業務を実施。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料 積立金	299,200円 9,658円	青山工業団地調整池除草業務委託 青山工業団地調整池等管理基金積立金	
	計	308,858円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0		0		0		0		【財産収入】 青山工業団地調整池等管理基金利子 【繰入金】 青山工業団地調整池等管理基金繰入金
	地方債	0		0		0		0		
	その他	302		402		309		410		
	一般財源	0		0		0		0		
	合計(A)	302		402		309		410		
事業費	正規職員	業務量	0.05 人	0.05 人	0.05 人	0.07 人				
		人件費	387	386	386	552				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
人件費		0	0	0	0					
	小計(B)	387	386	386	552					
	合計(A+B)	689	788	695	962					
	市民1人当たりのコスト(円)	8	10	9	12					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため指標化はできない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)03準用河川改修対策費(大事業)01準用河川管理経費	決算書頁
373 -		279

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-03-03-01-05
	基本事業	基本事業なし	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	調整池管理業務経費	担当部署 建設部建設管理課	課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	市管理調整池(30箇所)		
	目的	市管理調整池の維持管理		
	根拠法令等			
	内容	<p>市管理調整池(30箇所)の日常の維持管理を行う。</p> <p>維持業務としては、施設巡視点検・草刈りを実施、また、施設内フェンスの修繕を行った。</p> <p>施設の長寿命化対策に向け、的確な修繕実施計画を検討・策定する時期に差し掛かっており、施設診断業務を予算化し、診断結果に即した修繕計画を策定し、修繕予算の確保に努め、必要な修繕を実施する必要がある。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	需用費 役務費 施設管理委託料(調整池管理業務委託料)  積立金  計	905,670円 307,120円 1,207,984円  2,531円  2,423,305円	消耗品費、修繕料 賠償責任保険料 調整池草刈清掃業務委託 草刈処分業務委託 調整池巡視点検業務委託料 調整池施設維持管理委託料(千戸区) 調整池施設維持管理委託料(炊村区) 調整池施設維持管理委託料(青山) 住宅団地等調整池管理基金積立金	

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	【財産収入】 住宅団地等調整池管理基金利子 【繰入金】 住宅団地等調整池管理基金繰入金
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	1,512	744	1,412	0	0	0	0	0	
	一般財源	230	1,711	1,012	0	0	0	2,355	0	
	合計(A)	1,742	2,455	2,424	0	0	0	2,355	0	
事業費	正規職員	業務量	0.12 人	0.12 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人	0.17 人	
		人件費	929	925	1,310	0	1,339	0	1,339	
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
		人件費	0	0	0	0	0	0	0	
	会計年度任用職員	業務量	0.10 人	0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
人件費		162	168	0	0	0	0	0		
小計(B)		1,091	1,093	1,310	0	1,339	0	1,339		
合計(A+B)		2,833	3,548	3,734	0	3,694	0	3,694		
市民1人当たりのコスト(円)		33	42	44	0	44	0	44	0	

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	施設の日常の維持管理経費のため、指標化はできない。	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>
	施策	2-1 危機管理	H26 年度～ R6 年度	01-08-03-03-02-01
	基本事業	③ 河川維持・改修	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	準用河川等整備事業		建設部道路河川課

<b>事務事業の概要</b>	<b>対象</b>	市が所管する河川		
	<b>目的</b>	降雨時における浸水被害を解消する		
	<b>根拠法令等</b>			
	<b>内容</b>	洪水による氾濫防止や河川環境の保全を図ります。 令和5年度は、河川浚渫工事11件と河川内支障木伐採を2件を実施しました。		
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	需用費	1,122,007円	燃料費20地区、修繕料4件	
	委託料	27,834,900円	準用河川渋田川測量業務委託 11,374,700円 準用河川渋田川設計業務委託 8,244,500円 準用河川渋田川用地測量業務委託 6,470,000円 その他業務委託4件 557,700円	
	工事請負費	33,886,600円	オオサンショウウオ保護調査業務委託4件 1,188,000円 普通河川広出川浚渫工事 9,541,400円 準用河川むれ川浚渫工事 5,336,100円 その他浚渫工事9件 13,211,000円 支障木伐採業務委託2件 5,798,100円	
	計	62,843,507円		

	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	緊急浚渫推進事業債 緊急自然災害防止対策事業債
		地方債	55,300	189,700	59,800	226,100				
		その他	0	0	0	0				
		一般財源	2,186	3,113	3,044	2,122				
		合計(A)	57,486	192,813	62,844	228,222				
<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	1.36 人	1.62 人	1.62 人	1.62 人				
		人件費	10,523	12,483	12,483	12,756				
	<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	<b>会計年度任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	0	0	0	0				
	小計(B)	10,523	12,483	12,483	12,756					
	合計(A+B)	68,009	205,296	75,327	240,978					
	市民1人当たりのコスト(円)	776	2,376	872	2,824					

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	浚渫実施率	実施箇所数/全数	%	目標	30.5	52.5	74.6	100
				実績	30.5	52.5	74.6	
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		

<b>方向</b>	<b>改善</b>	<b>課題</b>	毎年多量に排出される浚渫土砂の処分先の確保に苦慮しています。
		<b>改善案</b>	関係地区に協力を得て、地区内で処分可能な場所を提供してもらう。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)04ダム関連整備費(大事業)02ダム周辺整備事業	決算書頁
375 -		281

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-3 森林保全・林業	H22 年度～ R6 年度	01-08-03-04-02-01
	基本事業	① 森林環境の整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	生産管理用道路整備事業	建設部建設管理課	評価責任者・連絡先 課長 福田 康彦 0595-22-9722

事務事業の概要	対象	川上ダム湖面周辺の残地森林の所有者		
	目的	ダム水没地周辺の山林管理用道路を開設する。		
	根拠法令等	水源地域対策特別措置法		
	内容	川上ダム周辺整備事業基金の管理用務。 ※令和5年度、令和6年度は生産管理用道路整備事業の財源である当基金の管理業務を建設管理課で実施。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	積立金	851,133円	川上ダム周辺整備事業基金利子積立	
	計	851,133円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	【財産収入】 川上ダム周辺整備事業基金利子
	地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	41,298	932	852	867					
	一般財源	0	0	0	0					
	合計(A)	41,298	932	852	867					
事業費 人件費	正規職員	業務量 0.47 人	0.01 人	0.02 人	0.02 人					
	人件費	3,637	78	155	158					
	再任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
	人件費	0	0	0	0					
	会計年度任用職員	業務量 0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人					
人件費	0	0	0	0						
	小計(B)	3,637	78	155	158					
	合計(A+B)	44,935	1,010	1,007	1,025					
	市民1人当たりのコスト(円)	513	12	12	13					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	整備進捗率	供用開始する林道の延長	m	目標	241	241	0	0
				実績	0	241	0	
指標化できない成果	通常の基金管理用務のため。	達成	0%	100%	0			

方向	継続	課題	
		改善案	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)03河川費(目)04ダム関連整備費(大事業)02ダム周辺整備事業	決算書頁
376 -		281

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-3 道路	R3 年度～ R6 年度	01-08-03-04-02-03
	基本事業	① 道路	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	川上ダム周辺整備事業	建設部道路河川課	課長 岩野 庄司 0595-22-9726

事務事業の概要	対象	川上団地内及びその周辺の市が所管する道路施設		
	目的	川上団地内の道路施設の異常または損傷を早期に発見するとともに、計画的かつ効率的な修繕を実施し、道路利用者の安全かつ円滑な交通を確保する		
	根拠法令等			
	内容	川上団地内及びその周辺の本市が管理する道路施設を常時良好な状態に保つよう、道路舗装及び付属構造物の損傷箇所について、修繕工事を行います。  令和5年度は、4箇所の道路施設や舗装の修繕を行いました。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	委託料	916,135円	市道羽根岡波線道路用地除草業務委託等3件	
	工事請負費	1,394,800円	市道川上中線舗装修繕工事 599,500円 その他修繕工事等3件 795,300円	
	計	2,310,935円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	川上ダム周辺整備事業基金繰入金
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	2,670	6,926	2,311	1,366				
		一般財源	0	0	0	0				
		合計(A)	2,670	6,926	2,311	1,366				
	人件費	正規職員	業務量	0.55 人	0.55 人	0.55 人	0.55 人			
			人件費	4,256	4,238	4,238	4,331			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
	人件費	0	0	0	0					
	小計(B)	4,256	4,238	4,238	4,331					
	合計(A+B)	6,926	11,164	6,549	5,697					
	市民1人当たりのコスト(円)	79	130	76	67					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	維持修繕のため計画的な事業計画が立てられない。		達成	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

<b>基本情報</b>	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業	
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-02-01	
	基本事業	基本事業なし	担当 部署	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	一般事務経費		建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

<b>事務事業の概要</b>	対象	伊賀市全域		
	目的	都市計画法等に基づき、都市の健全な発展と秩序ある整備を進める		
	根拠法令等	都市計画法、伊賀市の適正な土地利用に関する条例		
	内容	<p>都市計画法等に基づき、地域ビジョンに沿った土地利用の規制誘導することにより、都市の健全な発展と秩序ある整備を進めました。</p> <p>令和5年度実績          土地利用審議会委員委嘱 5名          土地利用審議会の開催 4回</p> <p>都市計画審議会委員委嘱 13名          都市計画審議会の開催 1回</p> <p>[参考]          土地利用条例承認件数 300件</p>		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	報酬	180,000円	土地利用審議会委員報酬・都市計画審議会委員報酬	
	委託料	310,296円	10,296円	電算機保守点検委託料等
	負担金、補助及び交付金	133,000円	300,000円	さくらのまち伊賀推進事業委託料
	積立金	678,043円	123,000円	都市計画協会負担金
	その他事務経費	355,624円	10,000円	日本さくらの会賛助会費
				公共施設等整備基金積立金
				旅費、消耗品費、通信運搬費
	計	1,656,963円		

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		市有土地建物貸付収入
		地方債	0	0	0	0		公共施設等整備基金利子
		その他	1,290	1,080	1,657	1,040		物品等売払代金
		一般財源	1,754	1,432	0	1,575		複写料
	合計(A)	3,044	2,512	1,657	2,615	行政財産目的外使用料		
	<b>事業費</b>	<b>人件費</b>	正規職員	3.93 人	5.20 人	4.91 人	4.39 人	
			業務量	30,407	40,066	37,832	34,567	
		再任用職員	1.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
		業務量	3,590	0	0	0		
人件費		1,617	1,679	1,679	1,776			
会計年度任用職員	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人				
業務量	1,617	1,679	1,679	1,776				
小計(B)	35,614	41,745	39,511	36,343				
合計(A+B)	38,658	44,257	41,168	38,958				
市民1人当たりのコスト(円)	441	513	477	457				

<b>指標</b>	指標名	指標の説明	単位		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成	—	—	—	—	—

<b>方向</b>	<b>継続</b>	<b>課題</b>	
	<b>改善案</b>		

整理番号
378 -

決算書頁
281

(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)03事務管理経費

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-03-01
	基本事業	基本事業なし	担当 部署	部・課名等
	事務事業名	土地利用等規制対策経費		建設部都市計画課

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	国土利用計画法に基づく届出等の受付等を進める		
	根拠法令等	国土利用計画法		
	内容	国土利用計画法に基づく届出等の受付等を行いました。 令和5年度実績 受付件数 67件		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需用費		18,000円	消耗品費
		計	18,000円	

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)		
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人			
事業費	直接 事業費	国県支出金	16		14		18		16	三重県土地取引規制等市町事務費交付金		
		地方債	0		0		0		0			
		その他	0		0		0		0			
		一般財源	0		0		0		0			
		合計(A)	16		14		18		16			
	人件費	正規職員	業務量	0.23	人	0.23	人	0.23	人		0.23	人
			人件費	1,780		1,773		1,773			1,812	
		再任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人		0.00	人
			人件費	0		0		0			0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00	人	0.00	人	0.00	人		0.00	人
人件費	0		0		0		0					
小計(B)	1,780		1,773		1,773		1,812					
合計(A+B)	1,796		1,787		1,791		1,828					
市民1人当たりのコスト(円)	21		21		21		22					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成	—	—	—	—	

方向	継続	課題	
		改善案	

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	<b>名称</b>	<b>事業期間</b>	<b>会計-款-項-目-大事業-中事業</b>
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-03-02
	基本事業	基本事業なし	<b>担当 部署</b>	<b>部・課名等</b>
	事務事業名	上野南部開発及び青山北部住宅団地土地管理経費		建設部都市計画課

<b>事務事業の概要</b>	<b>対 象</b>	事業対象の地元自治会		
	<b>目 的</b>	近鉄ニュータウン及び青山北部住宅団地の土地管理を行う		
	<b>根拠法令等</b>			
	<b>内 容</b>	近鉄ニュータウン及び青山北部住宅団地の土地管理について、近畿日本鉄道株式会社との覚書に基づき、地元自治会への管理費用の支払いを行いました。		
<b>事業に要した 主な経費 など</b>	<b>経費</b>	<b>金額</b>	<b>摘要</b>	
	委託料	1,295,731円	上野南部都市開発地区土地管理委託料	979,800円
			青山北部住宅団地土地管理委託料	315,931円
	計	1,295,731円		

	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接 事業費</b>	国庫支出金	0		0		0		0	南部都市開発地区管理費 青山北部住宅団地用地管理費
		地方債	0		0		0		0	
		その他	1,296		1,296		1,296		1,296	
		一般財源	0		0		0		0	
		合計(A)	1,296		1,296		1,296		1,296	
<b>事業費</b>	<b>人件費</b>	正規職員	0.03	人	0.03	人	0.03	人	0.03	人
		業務量	0.03		0.03		0.03		0.03	
		人件費	233		232		232		237	
		再任用職員	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人
		業務量	0.00		0.00		0.00		0.00	
		人件費	0		0		0		0	
会計年度任用職員	0.00	人	0.00	人	0.00	人	0.00	人		
業務量	0.00		0.00		0.00		0.00			
人件費	0		0		0		0			
小計(B)	233		232		232		237			
合計(A+B)	1,529		1,528		1,528		1,533			
市民1人当たりのコスト(円)	18		18		18		18			

<b>指 標</b>	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	—	—	—	—	目標	—	—	—
					実績	—	—	—
指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成	—	—	—	—		

<b>方 向</b>	<b>継続</b>	<b>課題</b>	
		<b>改善案</b>	

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)06建築関係事務経費	決算書頁
380 -		281

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-01-06-01
	基本事業	基本事業なし	担当部署	部・課名等
	事務事業名	建築関係事務経費	建設部建築課	評価責任者・連絡先 課長 榮井 隆 0595-22-9732

事務事業の概要	対象	建築物		
	目的	法令に基づく事務処理をスムーズにするため、提出されたら速やかに審査に取り掛かり、厳格な審査を行う。統一的な建築営繕業務を行うため、各種法令研修への参加および営繕積算システム(RIBC2)の構築を行う。		
	根拠法令等	建築基準法(第6条、第7条、第7条の3、第12条第5項、第43条ほか)、長期優良住宅の普及の促進に関する法律(第5条)(8条)(10条)、都市低炭素化促進法(第53条)、建設リサイクル法(第10条他)、建設業法、公共工事積算基準		
	内容	【建築指導審査係関係業務 各種申請等受理件数】建築基準法等に基づく特定行政庁事務処理を行いました ・建築確認申請(工作物を含む。)(計画通知を含む。)(計)10件 完了検査申請(工作物を含む。)(計画通知を含む。)(計)10件 建築基準法第12条第5項報告10件 建築基準法第43条認定 3件 長期優良住宅認定申請(8条、10条を含む) 52件 低炭素認定申請 1件 建設リサイクル法届出(通知書を含む。) 70件ほか  【建築営繕業務】市有建築物の営繕業務を行いました 建築工事発注件数 35件 業務委託発注件数 10件		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	43,830円	研修参加、行政会議参加	
	需用費	533,306円	追録費用、書籍費、消耗品費	
	役務費	263,250円	特定行政庁団体賠償責任保険料	
	委託費	242,000円	指定道路調査支援システム保守委託料(委託先:(株)パスコ)	
		1,588,400円	指定道路台帳更新業務委託料(委託先:(株)パスコ)	
	使用料および賃借料	16,030円	有料道路通行料金	
		6,200円	駐車料金(研修出張時)	
		1,562,220円	RIBC2営繕積算システム利用料	
	ソフトウェア購入	1,334,300円	積算単価データ購入費(経済調査会、建設物価調査会)	
	負担金	143,160円	研修会参加負担金、日本建築行政会議負担金、全国建築審査協議会負担金	
	計	5,732,696円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	
事業費	直接事業費	国県支出金	53	31	51	51				
		地方債	0	0	0	0				
		その他	898	1,229	1,298	1,094				
		一般財源	2,314	4,987	4,384	5,801				
		合計(A)	3,265	6,247	5,733	6,946				
	人件費	正規職員	業務量	2.33 人	9.00 人	9.00 人	9.00 人			
			人件費	18,028	69,345	69,345	70,866			
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
			人件費	0	0	0	0			
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人			
	人件費	0	0	0	0					
	小計(B)	18,028	69,345	69,345	70,866					
	合計(A+B)	21,293	75,592	75,078	77,812					
	市民1人当たりのコスト(円)	243	875	869	912					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	建築確認等審査期間	建築確認等の平均審査日数(確認、許可、認定あるいは不備通知までの処理日数)(年度毎)	日	目標	0	7	7	7
				実績	0	7.85	8.07	
指標化できない成果	—	達成	0	89.17%	86.7%			

方向	改善	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○建築確認等の窓口や電話対応が集中し、職員数が対応しきれないことから窓口対応で待ち時間が発生する。</li> <li>○法改正が行われることから、職員間の法改正内容の共有および市民への周知が必要。</li> <li>○営繕積算システム(RIBC2)の導入により、営繕発注業務の統一化を図る。</li> </ul>
		改善案	<ul style="list-style-type: none"> <li>○窓口対応でお客様の待ち時間を極力減らすよう職員間で連携を図る。</li> <li>○法改正対応への実務体制強化を図る。法改正周知案内をホームページで行う。</li> <li>○営繕積算システム(RIBC2)利用マニュアルを作成し、営繕発注業務の統一化を図る。</li> </ul>

整理番号 381 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)07都市計画調査策 定等事業	決算書頁 283
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-1 都市政策	R元 年度～	R6 年度	01-08-04-01-07-01
	基本事業	① コンパクトシティ・プラス・ネットワーク	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	都市計画調査策定等事業	担当 部署	建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	伊賀市全域		
	目的	伊賀市の都市計画に関わる計画等の策定を行う		
	根拠法令等	都市計画法、都市再生特別措置法		
	内容	伊賀市立地適正化計画追補版(防災指針等)の公表(令和5年3月)に伴い、冊子等を印刷して制度の周知を行いました。		
事業に要した 主な経費 など	経費		金額	摘要
	需要費		502,150円	印刷製本費
		計	502,150円	

項目		R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
直接 事業費	国県支出金	4,879	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	4,498	697	502	6,611		
	合計(A)	9,377	697	502	6,611		
事業費 人件費	正規職員	業務量	2.66 人	0.86 人	0.88 人		1.10 人
		人件費	20,581	6,627	6,781		8,662
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0		0
	会計年度任 用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
		人件費	0	0	0		0
	小計(B)	20,581	6,627	6,781	8,662		
合計(A+B)	29,958	7,324	7,283	15,273			
市民1人当たりのコスト(円)		342	85	85	179		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	事業進捗率	計画等の策定に関わる予算 に対する執行額の割合	%	目標	100	100	100	100
				実績	100	100	100	
指標化できない成果	—		達成	100%	100%	100%		

方向	改善	課題	伊賀市都市マスタープラン、伊賀市の適正な土地利用に関する条例並びに伊賀市立地適正化計画の内容について、様々な手法を用いて周知を行いながら、コンパクトシティ実現に向けた理解を深めることが課題です。
		改善案	各種計画等の内容について、引き続き住民自治協議会や宅建業者等に対して周知を行います。

整理番号	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)01都市計画総務費(大事業)10産業集積開発事業推進経費	決算書頁
382 -		283

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-5 商工業・産業立地	H27 年度～ R6 年度	01-08-04-01-10-01
	基本事業	② 企業立地	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	産業集積開発事業推進経費	建設部企業用地整備課	課長 石黒 義章 0595-22-9727

事務事業の概要	対象	市民(新たな雇用の創出)		
	目的	新たな雇用の創出と人口の減少に歯止めをかけるため、就業機会の拡大、若者の定住の推進を図る。		
	根拠法令等	第2次伊賀市総合計画・第3次基本計画、伊賀市都市マスタープラン		
	内容	<p>新たな雇用の創出と人口の減少に歯止めをかけるため、民間開発事業者を誘致し、民間主導による新たな産業用地の創出を推進する。</p> <p>①企業誘致PR活動 企業誘致WEBセミナー開催、インターネット広告(バナー広告)</p> <p>②企業アンケートの実施 送付数 3,269社、回答数 97社、送付業種 製造業、物流・IT関連、半導体事業者、飲食料製造者等</p> <p>③企業訪問 アンケート及びWEBセミナー等で伊賀市への立地に興味を持ってもらった企業を訪問。訪問数15回(10社)</p> <p>④大規模地権者との各種調整</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	旅費	881,630円	企業訪問(東京、大阪)、産業交流セミナー(大阪)	881,630円
	需用費	66,000円	事務用品、書籍	66,000円
		2,592円	お茶代	2,592円
		134,475円	アンケート封筒印刷代	134,475円
	役務費	12,400円	アンケート郵便代	12,400円
	広告料	508,200円	電子版インターネット広告(バナー広告)	508,200円
	手数料	2,310円	クリーニング代	2,310円
	委託料	8,889,578円	企業誘致WEBセミナー運営支援業務委託	8,293,378円
			企業誘致WEBセミナー配信等業務委託	596,200円
	使用料及び賃借料	16,900円	有料道路通行料(岡崎市、名古屋、大阪)14,100円、駐車場借上料(名古屋)2,800円	16,900円
	計	10,514,085円		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	5,043	4,779	4,698	0		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0		
		一般財源	6,780	6,460	5,817	0		
	合計(A)	11,823	11,239	10,515	0			
	事業費	正規職員	業務量	2.00 人	2.00 人	2.00 人		0.00 人
			人件費	15,474	15,410	15,410		0
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	15,474	15,410	15,410	0				
合計(A+B)	27,297	26,649	25,925	0				
市民1人当たりのコスト(円)	312	309	300	0				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
				目標	—	—	—
				実績	—	—	—
	指標化できない成果	事業内容が事業化に向けた調整が主な為	達成	—	—	—	

方向	統合	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>開発事業者を誘致する際の最大の課題が立地企業の確保(売れ残りのリスクの軽減)が必要である。</li> <li>立地企業が確実に見込まれれば開発事業の着手に繋がるが、現状が山林であるため事業実現性の不安から立地企業の確約が得られない。</li> </ul>
		改善案	最終進出企業の掘起しを行い、当市への進出希望企業が十分あることを示すことが開発事業者の誘致に繋がると考える。企業誘致については、更なる市の魅力を伝えるべく様々な手法の検討。さらには企業のニーズを把握することも重要である。

<b>基本情報</b>	<b>コード</b>	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-2 住環境整備	H27 年度～ R6 年度	01-08-04-01-16-01
	基本事業	③ 空き家対策	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	空き家等対策推進事業	建設部住宅課空き家対策室	室長 森口 浩司 0595-22-9676

<b>対 象</b>	空き家所有者及び相続人等関係者、地域住民、観光客、起業・創業者																														
<b>目 的</b>	空き家等対策計画に基づき計画を推進する																														
<b>根拠法令等</b>	空き家等対策の推進に関する特別措置法、第2次伊賀市空き家対策計画(計画期間令和3～7年度)																														
<b>内 容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定締結団体数 12団体</li> <li>・空家等約2,100戸(うち特定空家等判定約200戸)</li> <li>・空き家対策協議会(2回開催)</li> <li>・略式代執行の執行(佐那具町)</li> <li>・空き家バンク事業 物件登録数 延べ528件、利用登録者数 延べ1,876世帯、成約世帯 219世帯</li> <li>・空き家バンクホームページの充実(バーチャル内覧、YouTubeによる物件紹介、ブログによる地域情報発信)</li> <li>・ワンストップ空き家相談会(2回開催延べ59組)</li> <li>・特定空家除却費補助金・空家再生等推進事業補助金の交付</li> <li>・財産管理人申立2件</li> </ul>																														
<b>事業に要した主な経費など</b>	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:30%;">経費</th> <th style="width:20%;">金額</th> <th style="width:50%;">摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空き家等対策協議会委員報酬</td> <td style="text-align: right;">126,000円</td> <td>8/3・3/18開催分(6,000円×21人)</td> </tr> <tr> <td>謝礼</td> <td style="text-align: right;">150,000円</td> <td>7/29・2/17ワンストップ空き家相談会相談員謝礼(10,000円×15人)</td> </tr> <tr> <td>広告料</td> <td style="text-align: right;">605,075円</td> <td>伊賀市移住促進情報発信事業ほか</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td style="text-align: right;">467,889円</td> <td>相続人等調査業務委託料、空き家バンクホームページ保守点検業務委託料</td> </tr> <tr> <td>建物除却工事費</td> <td style="text-align: right;">6,431,700円</td> <td>佐那具町略式代執行工事費</td> </tr> <tr> <td>伊賀市空家再生等推進事業補助金</td> <td style="text-align: right;">25,297,000円</td> <td>特定空家除却費補助金 9件・空家再生等推進事業補助金 1件</td> </tr> <tr> <td>裁判所予納金</td> <td style="text-align: right;">500,000円</td> <td>相続財産清算人申立予納金</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">304,982円</td> <td>消耗品費ほか</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: right;">33,882,646円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	空き家等対策協議会委員報酬	126,000円	8/3・3/18開催分(6,000円×21人)	謝礼	150,000円	7/29・2/17ワンストップ空き家相談会相談員謝礼(10,000円×15人)	広告料	605,075円	伊賀市移住促進情報発信事業ほか	委託料	467,889円	相続人等調査業務委託料、空き家バンクホームページ保守点検業務委託料	建物除却工事費	6,431,700円	佐那具町略式代執行工事費	伊賀市空家再生等推進事業補助金	25,297,000円	特定空家除却費補助金 9件・空家再生等推進事業補助金 1件	裁判所予納金	500,000円	相続財産清算人申立予納金	その他	304,982円	消耗品費ほか	計	33,882,646円	
経費	金額	摘要																													
空き家等対策協議会委員報酬	126,000円	8/3・3/18開催分(6,000円×21人)																													
謝礼	150,000円	7/29・2/17ワンストップ空き家相談会相談員謝礼(10,000円×15人)																													
広告料	605,075円	伊賀市移住促進情報発信事業ほか																													
委託料	467,889円	相続人等調査業務委託料、空き家バンクホームページ保守点検業務委託料																													
建物除却工事費	6,431,700円	佐那具町略式代執行工事費																													
伊賀市空家再生等推進事業補助金	25,297,000円	特定空家除却費補助金 9件・空家再生等推進事業補助金 1件																													
裁判所予納金	500,000円	相続財産清算人申立予納金																													
その他	304,982円	消耗品費ほか																													
計	33,882,646円																														

<b>全体コスト(千円)</b>	<b>直接事業費</b>	<b>項目</b>	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等) 空家等対策総合支援事業	
		国県支出金	5,181	8,174	16,455	20,126		
		地方債	0	0	0	0		
		その他	1,264	2,319	1,282	2,694		
		一般財源	6,460	8,365	16,145	20,867		
	合計(A)	12,905	18,858	33,882	43,687			
	<b>事業費</b>	<b>正規職員</b>	業務量	3.80 人	3.80 人	4.00 人		4.00 人
			人件費	29,401	29,279	30,820		31,496
		<b>再任用職員</b>	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人		0.00 人
			人件費	0	0	0		0
<b>会計年度任用職員</b>		業務量	3.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人		
	人件費	4,851	5,037	5,037	5,328			
小計(B)	34,252	34,316	35,857	36,824				
合計(A+B)	47,157	53,174	69,739	80,511				
市民1人当たりのコスト(円)	538	616	807	944				

<b>指標</b>	<b>指標名</b>	<b>指標の説明</b>	<b>単位</b>		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	空き家バンクの成約数	空き家を活用した数	件	目標	30	30	40	40
				実績	31	39	36	/
指標化できない成果	—		達成	103%	130%	90%	/	

<b>方向</b>	<b>充実</b>	<b>課題</b>	人口減少社会が進む中、各種施策を実施しても管理不全空家が増加することが見込まれる。そのような状況では、所有者不明のケースや対応困難な事例が増える可能性がある。
		<b>改善案</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生前から家屋等の不動産に対する意識の醸成を行うべく連携団体と協力し空き家相談会を開催するなど空き家に対する啓発活動を推進する。</li> <li>・空き家バンク事業に関しては成約件数が40件弱で推移していることから、更なる成約数の増高に向けた取り組みとして、登録物件数等の増加に向けてオンライン化による手続きの簡素化や、空き家バンク制度の周知に向けた取り組みの強化を行う。</li> <li>・空き家になり所有者不在空家に対しては、財産管理人制度の活用や管理不全空家への指定など空き家の有効活用や適性管理に向け取り組みを進める。</li> <li>・古民家再生活用事業では、連携協定団体と協力しつつ歴史的資源を活用する事業として継続して推進する。</li> </ul>

基本情報	コード	名称	事業期間		会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-2 住環境整備	H16 年度～	R6 年度	01-08-04-01-18-01
	基本事業	① 木造住宅等の耐震化	部・課名等		評価責任者・連絡先
	事務事業名	木造住宅等耐震支援事業	担当部署	建設部住宅課	課長 前川 浩哉 0595-22-9737

事務事業の概要	対象	市内にある旧耐震基準で建設された3階建て以下の木造住宅等			
	目的	旧耐震基準の木造住宅等の耐震化支援を行うことで地震による被害や避難路の通行障害を防ぎ、地震に強いまちづくりを目指す。			
	根拠法令等	建築物の耐震改修の促進に関する法律、三重県建築物耐震改修促進計画、伊賀市建築物耐震改修促進計画			
	内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>耐震診断普及啓発【パネル展示 1回、戸別訪問 170戸】</li> <li>木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託 34件【委託先：三重県木造住宅耐震促進協議会】</li> <li>木造住宅耐震補強設計事業 3件</li> <li>木造住宅耐震補強事業 1件</li> <li>リフォーム事業 1件</li> <li>災害時要援護者宅家具固定事業 9件</li> <li>ブロック塀等撤去費補助事業 4件</li> <li>木造住宅除却補助事業 2件</li> </ul>			
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要		
	委託料	1,604,800円	木造住宅耐震診断事業派遣等業務委託		
	負担金、補助及び交付金	2,584,000円	耐震補強設計・改修事業費補助金、ブロック塀等撤去費補助金、除却事業費補助金		
	その他経費	35,200円	消耗品		
	計	4,224,000円			

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人件	金額	人件	金額	人件	金額	人件	
直接事業費	国県支出金	1,394		7,492		2,935		8,176		社会資本整備総合交付金 三重県木造住宅耐震診断等事業費補助金 三重県木造住宅耐震補強等事業費補助金 ふるさと応援基金
	地方債	0		0		0		0		
	その他	137		750		117		0		
	一般財源	527		2,940		1,172		4,037		
	合計(A)	2,058		11,182		4,224		12,213		
事業費	正規職員	業務量	0.15 人	0.20 人	0.20 人	0.28 人				
		人件費	1,161	1,541	1,541	2,205				
	再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.10 人				
		人件費	0	0	0	362				
	会計年度任用職員	業務量	0.10 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
		人件費	162	0	0	0				
小計(B)	1,323	1,541	1,541	2,567						
合計(A+B)	3,381	12,723	5,765	14,780						
市民1人当たりのコスト(円)		39	148	67	174					

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	耐震診断実施率	耐震診断件数/耐震診断目標件数	%	目標	100	100	100	100
				実績	66.7	110	113.3	
指標化できない成果	—	達成	66.7%	110%	113.3%			

方向	改善課題	耐震診断で倒壊する可能性が高いと判定されても耐震補強工事費が高額で施工をためらう声がある他、補助金を活用した耐震性のない木造住宅の除却が進んでいない状況です。
	改善案	住宅の耐震化率の向上のため、今後も更なる啓発活動(年2回の戸別訪問、出前講座、パネル展示、広報紙及びホームページ掲載等)を行い、耐震に関する住民意識の向上を図るとともに、耐震診断の対象者に対し、耐震補強工事や除却工事等の補助制度の案内を行っていきます。

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-1 都市政策	H20 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-01
	基本事業	② 良好な景観形成	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	市街地整備推進事業費	建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	城下町重点風景区域内等における建築行為等		
	目的	伊賀市景観計画で定める基準に適合させる		
	根拠法令等	景観法		
	内容	建築行為に対し、景観計画に基づいて行為の届出を求めるとともに、景観形成基準への適合審査を行い、必要に応じて景観アドバイザーの意見を求めながら景観の保全・形成を進めました。		
事業に要した 主な経費 など	経費	金額	摘要	
	報酬 報償費 旅費 需用費 使用料及び賃借料	90,000円 35,876円 19,145円 9,927円 4,960円	景観審議会委員報酬 景観アドバイザー謝礼 消耗品費 会場借上料等	
	計	159,908円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		金額	人	金額	人	金額	人	金額	人	
事業費	直接 事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	85	211	160	181	160	181	181	
		合計(A)	85	211	160	181	160	181	181	
	人件費	正規職員	業務量	0.23 人	0.35 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	0.75 人	
			人件費	1,780	2,697	5,779	5,906	5,779	5,906	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	0	0	
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0	0	0			
	小計(B)	1,780	2,697	5,779	5,906	5,779	5,906	5,906		
	合計(A+B)	1,865	2,908	5,939	6,087	5,939	6,087	6,087		
	市民1人当たりのコスト(円)	22	34	69	72	69	72	72		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	適合率		届出行為の景観形成基準への適合率	%	目標	90	90	90
					実績	87	80	82
指標化できない成果	—		達成	97%	89%	91%		

方向	改善	課題	城下町風景をはじめとする景観の保全・形成の必要性に関する建築主等の理解が重要であることから、地域の景観に関する意識の醸成が課題です。
	改善案		「うえのまち風景づくり協議会」等の活動をはじめ、景観まちづくりに係る取組を地域住民等に向けて情報発信を図ること、景観に関する市民意識の高揚を図ります。 また、各種審議会等で景観計画見直しについて議論を深めます。

整理番号 386 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 285
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	H16 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-01
	基本事業	① 市街地整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	市街地整備推進事業費	産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	まちめぐりの拠点・交流施設の利用を促進し、にぎわいの拠点づくりを行う。		
	根拠法令等	赤井家住宅の設置及び管理に関する条例		
	内容	<p>○まちめぐりの拠点・交流施設として整備した国登録有形文化財である武家屋敷「赤井家住宅」について、指定管理者制度による管理を行った。 令和5年度《施設利用状況》施設利用者3,686人/年、施設見学を含む総入館者15,568人/年</p> <p>○経年劣化により損傷がみられる土塀の修繕をおこなった。</p> <p>○旧玉岡邸について、草刈、敷地内清掃、建物保全等を実施した。また売却に向けた情報を公開した結果、2月に売却が完了した。</p>		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	修繕料	185,636円	赤井家住宅修繕料/高田工務店	
	委託料	6,887,250円	赤井家住宅指定管理料/伊賀市文化都市協会	
	委託料	94,600円	旧玉岡邸草刈等業務/NPO法人絆	
	計	7,167,486円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件	金額	人件	金額	人件	金額	人件		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0		
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	0	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	7,929	7,183	7,168	24,636					
		合計(A)	7,929	7,183	7,168	24,636					
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	0.30 人				
			人件費	7,737	7,705	7,705	2,363				
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
			人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
	人件費	0	0	0	0						
	小計(B)	7,737	7,705	7,705	2,363						
	合計(A+B)	15,666	14,888	14,873	26,999						
	市民1人当たりのコスト(円)	179	173	173	317						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	赤井家住宅利用者数	施設の見学者、貸室利用者を含む利用者の総数	年/人	目標	10,400	10,600	10,800	11,000
				実績	10,533	16,680	15,568	
指標化できない成果	—		達成	101%	157%	144%		

方向	改善	課題	赤井家住宅は事務事業レビューにおいて、施設単体ではなくスケールメリット、相乗効果を生むため他の文化財施設と一体的な管理活用を求められている。そのためには指定管理期間の終期を揃え、枠組みを再編する必要がある。文化財課との協議を進める必要がある。
	改善案	改善案	条例改正により指定管理の期間についての定めを削除し次期指定管理期間にて他の文化財施設と終期を揃える。令和6年度が指定管理期間の最終年度であるため、指定管理者選定をおこなう。

整理番号 387 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 285
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	4-1 都市政策	H20 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-02
	基本事業	② 良好な景観形成	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	街なみ環境整備事業	建設部都市計画課	課長 川部 正章 0595-22-9731

事務事業の概要	対象	城下町重点風景地区内等において、建築行為等を行う建築主		
	目的	景観計画で定める重点風景区域における建築行為(修繕含む)等について、景観形成基準に適合させる		
	根拠法令等	景観法		
	内容	景観計画で定める重点風景地区において、景観まちづくりに寄与する建築行為等を行う建築主に対し、景観の保全・形成に要した建築費用の一部を助成しました。  ふるさと風景づくり助成金 交付件数1件、建築相談件数3件		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	報償費	9,148円	景観アドバイザー謝礼	
	需用費	29,137円	消耗品費	
	負担金、補助及び交付金	1,000,000円	ふるさと風景づくり助成金	
	計	1,038,285円		

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費	金額	人件費		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	0	0	0	0	0	0	ふるさと応援基金繰入金	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0		
		その他	2,205	2,500	1,000	2,500					
		一般財源	30	75	38	75					
		合計(A)	2,235	2,575	1,038	2,575					
	人件費	正規職員	業務量	1.20 人	1.15 人	1.00 人	1.00 人				
			人件費	9,285	8,861	7,705	7,874				
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
			人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
	人件費	0	0	0	0						
	小計(B)	9,285	8,861	7,705	7,874						
	合計(A+B)	11,520	11,436	8,743	10,449						
	市民1人当たりのコスト(円)	132	133	102	123						

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
				目標	—	—	—	—
				実績	—	—	—	—
	指標化できない成果	数値で評価できない事業である為	達成	—	—	—	—	

方向	改善	<p>現在指定されている重点風景地区については、計画策定時と比べてそぐわない部分があり、その区域については見直しが必要です。</p> <p>また、家屋の新築・改築等において、景観形成基準に適合させるためには、少なからず私権が制限されることとなり、それに伴い施主が私費等の負担が強いられるため、適合基準についての理解が得られていない現状があることから、景観形成に向けた基準を見直す必要があります。</p>
	改善案	<p>伊賀市景観審議会の専門部会にて景観形成基準の見直しを含む内容整理を行い、次年度から補助金を活用して景観計画見直し業務に着手します。</p> <p>また、伊賀市ふるさと風景づくり助成金制度について、引き続き地域住民等へ周知を図ります。</p>

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	H20 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-03
	基本事業	② 中心市街地の商業の活性化	担当部署	評価責任者・連絡先
	事務事業名	中心市街地活性化事業	産業振興部中心市街地推進課	課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、商業者、起業希望者、関係団体、来街者、観光客																																	
	目的	関係団体等と協働で空き店舗の解消に取り組み、地域経済の再生による中心市街地の活性化、にぎわいの創出を推進する。																																	
	根拠法令等	中心市街地の活性化に関する法律																																	
	内容	<p>○令和2年3月に策定した第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画に位置付けた『空き店舗情報システム整備及びコンサルタント事業』に基づき、令和3年度から継続し、中心市街地活性化協議会(事務局:株式会社まちづくり伊賀上野)と協働して中心市街地の空き店舗物件の実態調査、所有者への活用意向調査、個別ヒアリング等を実施した。令和5年度は1件の空き店舗の物件情報を協議会ホームページにて公開したが、活用件数は0件となった。</p> <p>○伊賀市中心市街地活性化協議会(法定協)、伊賀市中心市街地活性化推進会議(庁内)において、各事業の進捗管理を行った。《目標指標達成状況》人口の社会増減(累計)113.5%、空き店舗等活用件数(累計)100.0%、観光交流施設の利用者数(単年)62.7%、歩行者・自転車通行量(単年)86.3%、イベント参加者数(単年)50.5%</p> <p>○目標指標(歩行者・自転車通行量)把握のため、通行量調査業務を実施した。(夏季:7/29、春季:3/30)</p> <p>○「ライトアップイベントお城のまわり」を開催し、2日間で15,000人の来場があった。</p> <p>○令和6年度末の第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画策定を目指し、伊賀市中心市街地活性化基本計画策定委員会を7回、伊賀市中心市街地活性化推進会議作業部会を4回開催し、議論を行った。また、市民・高校生・来訪者アンケートや市民ワークショップを実施するなどして市民意見を取り入れ、1月に第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画中間案を策定した。</p>																																	
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中心市街地活性化基本計画策定委員会委員報酬</td> <td>588,000円</td> <td>中心市街地活性化基本計画策定委員会委員15名</td> </tr> <tr> <td>謝礼</td> <td>36,251円</td> <td>タウンミーティング(1/19開催)講師</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>189,460円</td> <td>中心市街地活性化基本計画策定委員会委員15名</td> </tr> <tr> <td>通行量調査業務委託料</td> <td>212,307円</td> <td>委託先:シルバー人材センター、年2回</td> </tr> <tr> <td>ライトアップ実施委員会委託料</td> <td>2,973,202円</td> <td>委託先:お城の周りライトアップイベント実施委員会</td> </tr> <tr> <td>有料道路通行料</td> <td>2,480円</td> <td>中心市街地活性化基本計画策定委員会委員訪問</td> </tr> <tr> <td>中心市街地活性化協議会運営活動費補助金</td> <td>1,500,000円</td> <td>支出先:中心市街地活性化協議会</td> </tr> <tr> <td>まちづくり協議会活動助成金</td> <td>110,000円</td> <td>支出先:うえのまちまちづくり協議会</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>336,273円</td> <td>事務用品</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,947,973円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員報酬	588,000円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員15名	謝礼	36,251円	タウンミーティング(1/19開催)講師	旅費	189,460円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員15名	通行量調査業務委託料	212,307円	委託先:シルバー人材センター、年2回	ライトアップ実施委員会委託料	2,973,202円	委託先:お城の周りライトアップイベント実施委員会	有料道路通行料	2,480円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員訪問	中心市街地活性化協議会運営活動費補助金	1,500,000円	支出先:中心市街地活性化協議会	まちづくり協議会活動助成金	110,000円	支出先:うえのまちまちづくり協議会	消耗品費	336,273円	事務用品	計	5,947,973円		
経費	金額	摘要																																	
中心市街地活性化基本計画策定委員会委員報酬	588,000円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員15名																																	
謝礼	36,251円	タウンミーティング(1/19開催)講師																																	
旅費	189,460円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員15名																																	
通行量調査業務委託料	212,307円	委託先:シルバー人材センター、年2回																																	
ライトアップ実施委員会委託料	2,973,202円	委託先:お城の周りライトアップイベント実施委員会																																	
有料道路通行料	2,480円	中心市街地活性化基本計画策定委員会委員訪問																																	
中心市街地活性化協議会運営活動費補助金	1,500,000円	支出先:中心市街地活性化協議会																																	
まちづくり協議会活動助成金	110,000円	支出先:うえのまちまちづくり協議会																																	
消耗品費	336,273円	事務用品																																	
計	5,947,973円																																		

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)
		国県支出金	0	0	0	0	ふるさと応援基金
		地方債	0	0	0	0	
		その他	3,000	3,000	2,973	3,236	
		一般財源	1,437	3,546	2,975	20,885	
	合計(A)	4,437	6,546	5,948	24,121		
	事業費	正規職員	業務量	1.50 人	1.45 人	1.45 人	1.70 人
			人件費	11,606	11,173	11,173	13,386
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人
			人件費	0	0	0	0
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
	人件費	0	0	0	0		
小計(B)	11,606	11,173	11,173	13,386			
合計(A+B)	16,043	17,719	17,121	37,507			
市民1人当たりのコスト(円)		183	206	199	440		

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	空き店舗等活用件数	市街地における空き店舗が活用された件数	件	目標	5	5	5
				実績	6	10	3
指標化できない成果	—	達成	100%超	100%超	60%		

方向	改善課題	第2期計画の目標指標については、人口の社会増減数(累計)、空き店舗活用件数(累計)で目標値を達成することができた。それ以外の指標については目標値を達成することができなかったが、観光交流施設の利用者数、イベント参加者数は、新型コロナウイルス感染症の5類以降に伴い、徐々に回復がみられることから、引き続きまちなかの回遊性向上に資する取り組みを継続していく。また、空き店舗活用件数(累計)は目標値を達成することができたものの、単年では目標値を達成できておらず、中心市街地には依然として多くの空き店舗が散見されることから、前年度同様、積極的な活用に繋がる取り組みを継続していく必要がある。
	改善案	特に対策が必要な課題においては、庁内の担当部局で構成する作業部会や、中心市街地活性化協議会内でのプロジェクトチームなどを立ち上げ、新規事業の立案や民間活力の導入など、重点的な取り組みを行っていく。

整理番号 389 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進費(大事業)01市街地整備推進事業	決算書頁 285
---------------	---	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	3-4 中心市街地活性化	R4 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-05
	基本事業	① 市街地整備	担当部署	部・課名等
	事務事業名	旧上野市庁舎利活用事業	産業振興部中心市街地推進課	評価責任者・連絡先 課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客																		
	目的	にぎわい忍者回廊創出PFI事業の特定事業として旧上野市庁舎を改修活用する																		
	根拠法令等																			
内容	<p>伊賀市の中心市街地では、「中心市街地の活性化に関する法律」や「まち・ひと・しごと創生法」の目的及び基本理念に基づき、コンパクトでにぎわいのあるまちづくり、次世代に誇れるまちづくりの実現を目指し、「第2期伊賀市中心市街地活性化基本計画」を策定し、まちなか居住の推進や観光・商業の活性化に向けた公民連携の取組を進めている。</p> <p>また、伊賀市の中心市街地は、東京の「上野恩賜公園と文化施設群」や京都の「南禅寺界隈の近代庭園群」などと同様に「伊賀上野城下町の文化的景観」が『日本の20世紀遺産20選』に選ばれている。</p> <p>この景観を構成する、坂倉準三による近代建築群や、伊賀上野城下町の歴史的なまちなみの保全、アフターコロナ時代における観光まちづくりの視点を加えつつ、地域に根付く魅力溢れる資源を面として捉え、人と地域が成長し続ける空間を創出するため、上野公園から城下町エリアを結ぶ動線を「にぎわい忍者回廊」と位置付け、公民が一体となって取組を推進する。</p> <p>にぎわい忍者回廊整備事業は、公民が一体で取り組むPFI(Private Finance Initiative)手法で進め、旧上野市庁舎を改修して図書館を核とする複合施設への利活用、五感をフルに使う楽しむ忍者体験施設の新設などを含め、民間ノウハウを活用した質の高いサービスの提供を目指している。</p> <p>令和5年度は、旧上野市庁舎改修の設計業務－工事の着手、不動産鑑定調査をおこなった。</p>																			
事業に要した主な経費など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>経費</th> <th>金額</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>43,780円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>297,000円</td> <td>不動産鑑定調査委託料/中央鑑定コンサルタント</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>104,200,000円</td> <td>にぎわい忍者回廊PFI業務委託料/伊賀市にぎわいパートナーズ</td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>5,250円</td> <td>駐車場借上料</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>104,546,030円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	経費	金額	摘要	旅費	43,780円		委託料	297,000円	不動産鑑定調査委託料/中央鑑定コンサルタント	委託料	104,200,000円	にぎわい忍者回廊PFI業務委託料/伊賀市にぎわいパートナーズ	使用料及び賃借料	5,250円	駐車場借上料	計	104,546,030円		
経費	金額	摘要																		
旅費	43,780円																			
委託料	297,000円	不動産鑑定調査委託料/中央鑑定コンサルタント																		
委託料	104,200,000円	にぎわい忍者回廊PFI業務委託料/伊賀市にぎわいパートナーズ																		
使用料及び賃借料	5,250円	駐車場借上料																		
計	104,546,030円																			

全体コスト(千円)	項目	R4年度決算		R5年度当初予算		R5年度決算		R6年度当初予算		特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		金額	人件	金額	人件	金額	人件	金額	人件		
事業費	直接事業費	国県支出金	0	52,279	49,600	918,000					
		地方債	0	47,000	44,640	826,200					
		その他	0	0	0	0					
		一般財源	4,998	10,762	10,307	112,248					
		合計(A)	4,998	110,041	104,547	1,856,448					
	人件費	正規職員	業務量	1.00 人	1.00 人	1.00 人	1.00 人				
			人件費	7,737	7,705	7,705	7,874				
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
			人件費	0	0	0	0				
		会計年度任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人				
人件費	0	0	0	0							
小計(B)	7,737	7,705	7,705	7,874							
合計(A+B)	12,735	117,746	112,252	1,864,322							
市民1人当たりのコスト(円)	146	1,363	1,299	21,846							

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	庁舎改修事業の進捗率	都市構造再編集中支援事業補助金を活用し庁舎改修をおこなうことから事業計画に基づく進捗を指標とする。	%	目標	—	0.2%	5%	77%
				実績	—	0.2%	5%	
指標化できない成果	—	達成	—	100%	100%			

方向	民間委託	課題	建築から年数が経過した建物であるため、契約当初の想定していなかった追加工事が必要となっている。図書館、忍者体験施設の開業に合わせて、まちなか周遊促進事業の検討を進める必要がある。
	改善案	事業者との情報共有を行い、追加工事等が発生した場合は、リスク分担表に基づき市の負担区分等について協議をおこなう。市が負担すべきものについては、変更契約に向け議会等へ十分な説明を行う。まちなか周遊促進事業の検討にあたっては、庁内関係課をはじめ、地元地区、商工会等事業者等も巻き込んで検討を進めていく。	

整理番号 390 -	(会計)01一般会計(款)08土木費(項)04都市計画費(目)02市街地整備推進事業	決算書頁 285
---------------	--	-------------

基本情報	コード	名称	事業期間	会計-款-項-目-大事業-中事業
	施策	999 施策なし	R4 年度～ R6 年度	01-08-04-02-01-06
	基本事業	基本事業なし	部・課名等	評価責任者・連絡先
	事務事業名	中心市街地公共公益施設管理経費	担当部署 産業振興部中心市街地推進課	課長 堀川 敬二 0595-22-9825

事務事業の概要	対象	市民、来街者、観光客		
	目的	街巡りの拠点となる市指定有形文化財とポケットパークの維持管理を行う。		
	根拠法令等			
	内容	街なみ環境整備事業で整備した、街巡り拠点である市指定有形文化財「成瀬平馬家長屋門」と上野東町ポケットパーク「さまざま広場」の維持管理を行った。 ※成瀬平馬家長屋門は、にぎわい忍路回廊整備事業において、事業者との契約が締結され、整備事業が開始となったため、令和5年度10月25日をもって観光戦略課へ所属換えを行った。なお、光熱費、警備費の予算管理は引き続き中心市街地推進課で行う。		
事業に要した主な経費など	経費	金額	摘要	
	浄化槽保安点検業務委託 清掃業務委託 警備業務委託 樹木剪定伐採等業務委託 手数料 その他経費  計	196,900円 1,953,600円 306,240円 97,900円 50,900円 501,704円  3,107,244円	委託先:(有)上野清掃、場所:さまざま広場 委託先:(有)いわの美装、場所:さまざま広場 委託先:三重総合警備保障㈱、場所:さまざま広場、成瀬平馬家長屋門 委託先:瑞祥園、場所:さまざま広場 さまざま広場公衆トイレ浄化槽法定検査、さまざま広場授乳室給水器フィルター交換・温水器点検 消耗品、光熱水費	

全体コスト(千円)	直接事業費	項目	R4年度決算	R5年度当初予算	R5年度決算	R6年度当初予算	特記事項記入欄(積算基礎、特定財源の名称等)	
		国県支出金	0	0	0	0		土地建物貸付収入
		地方債	0	0	0	0		
		その他	29	3	1	3		
		一般財源	2,964	3,491	3,107	3,520		
	合計(A)	2,993	3,494	3,108	3,523			
	事業費	正規職員	業務量	0.20 人	0.50 人	0.50 人	0.45 人	
			人件費	1,548	3,853	3,853	3,544	
		再任用職員	業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人	
			人件費	0	0	0	0	
会計年度任用職員		業務量	0.00 人	0.00 人	0.00 人	0.00 人		
	人件費	0	0	0	0			
小計(B)	1,548	3,853	3,853	3,544				
合計(A+B)	4,541	7,347	6,961	7,067				
市民1人当たりのコスト(円)	52	86	81	83				

指標	指標名	指標の説明	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	成瀬平馬門の利用件数	街巡り等の活動拠点として敷地を含む利用件数	回	目標	2	5	5	0
				実績	2	3	1	
指標化できない成果	—	達成	100%	60%	20%			

方向	改善課題	さまざま広場は、連休やイベント開催時など多くの市民や観光客が利用しており、市民等の憩いの場として浸透しつつある。更に地元地区の行事などでも広場を気軽に利用してもらえるよう促す必要がある。施設管理にあたってはイベントなど利用が集中した際は清掃が追い付かない場合やゴミが放置されるリスクがある。また、トイレ内にティッシュペーパーなどを散乱させる等のいたずらが度々発生しており、防犯対策が必要となっている。
	改善案	公園の更なる活用促進を図るため、地元地区への回覧等、広場の活用の啓発を進める。清掃については、受託業者と常に連携をとり、連休中やイベント時には1日2回の清掃を特別清掃に切り替えること等の対応をとるとともに、定期的に現場調査を行い良い状態が維持できているか定期的に確認する。防犯対策については、注意喚起を行うとともに必要により防犯カメラの解析を行う。